

デジタル口腔撮影装置

EyeSpecial C-I

アイスペシャル C-I

取扱説明書

安全にお使いいただくために、取扱説明書をよくお読みください。

SHOFU INC.

はじめに

このたびは、デジタル口腔撮影装置「アイススペシャル C-I」をご購入いただき、誠にありがとうございます。ごぞいます。

この取扱説明書は「アイススペシャル C-I」の正しい取り扱い方と、日常の点検および注意について説明しています。

本機の性能を十分に発揮させ、また常に良好な状態を保っていただくため、ご使用になる前には本書をよくお読みいただき、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになったあといつでも見られる所に大切に保管してください。

お願い

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容に一部、製品と合致しない個所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成しておりますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。
- 乱丁、落丁の場合はお取り替えいたします。最寄りの弊社販売店までご連絡ください。
- 機械、システムの本体トラブルについては、保証の範囲に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップなど、副次的トラブルについてはその責任を負いかねますのでご了承ください。

Windows、Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows 2000、Windows Me、Windows XP、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Macintosh、Mac OSはApple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBMは、米国International Business Machines Corporationの登録商標または商標です。

その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

知りたい情報を探す

いろいろな方法で、知りたい機能の説明や、操作の
手順を**簡単に探す**ことができます。

もくじ

から探す
→ vi、vii

この取扱説明書は、
右の20のセクションで
構成されています。

- | | | | |
|---|-------------------|----|---------------------|
| | ご使用の前にお読みいただきたいこと | 10 | セットアップモード |
| 1 | 安全にお使いいただくために | 11 | 撮影したデータをパソコンに取り込むには |
| 2 | 各部の名称とはたらき | 12 | 付録 |
| 3 | 前準備について | 13 | 取り扱い上の注意 |
| 4 | 歯科撮影について | 14 | お手入れと保管のしかた |
| 5 | 基本的な使用方法 | 15 | トラブルシューティング |
| 6 | 応用撮影 | 16 | Q&A (よくあるご質問) |
| 7 | こんなときには? | 17 | 仕様 |
| 8 | 撮影モード | 18 | 付属品 |
| 9 | 再生モード | 19 | 保証について |

知りたいこと

から探す
→ vi、vii
(ヘルプインデックス)

もくじ内にある「ヘルプ
インデックス(→vi、vii)」
から矢印をたどっていく
と、知りたいことが記載
されているページを探す
ことができます。

名称や表示

から探す
→ P.6

アイススペシャル C-Iの、
表示やボタンなどの機
能をわかりやすく説明し
ています。





索引

から探す
→ P.94

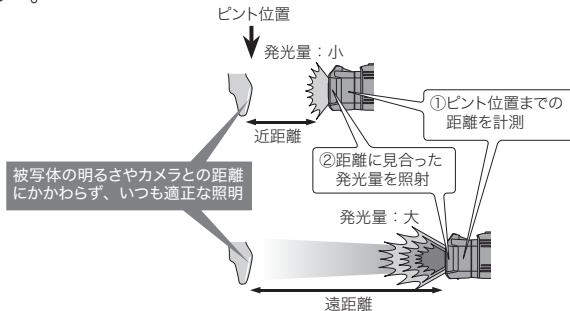
この取扱説明書で説明
されていることを、五十
音順に整理しています。
探したい言葉から、目
的のページを探すことが
できます。

特徴

- 1 小型・軽量なので、術者への負担が少なく、容易に取り扱うことができます。
- 2 倍率切り替えボタンで撮りたい倍率を選択し、液晶モニター上部のワーキングディスタンス表示を目安に画面を見ながら、おおよそのピントが合うように距離を調節したあと、オートフォーカスでピントを合わせて撮影します。この方法によって、規格化した定倍率撮影を簡単に行うことができます。
- 3 撮影対象に応じた4つの歯科撮影モードを搭載しています。モード切り替えダイヤルを回して被写体に合ったモードを選択するだけで、最適な撮影を行うことができます。

モード	説明
[標準モード] 	歯科撮影における基本のモードです。従来のリングフラッシュと同様に、前歯部から臼歯部まで影のない撮影が可能です。フラッシュ光の鏡面反射による歯面の“テカリ”の影響が少なく、幅広い撮影に対応しています。
[ミラーモード] 	ミラー撮影用のモードです。ミラーを使った撮影では、ミラーでの光の減衰によって画像が暗くなるため、[標準モード]より明るめにフラッシュが発光するように設定されています。
[顔貌モード] 	顔貌・胸像撮影用のモードです。被写体に応じた最適な露出調整を行います。顔貌や胸像画像をきれいに撮影できます。
[低反射モード] 	シェードテイキングなど、歯冠色の詳細を撮影するのに適したモードです。標準モードよりも前方で撮影することにより、光が側方から照射される効果が得られます。歯面の“テカリ”の影響がさらに少なくなり、歯列全体 ^{*1} が均一な明るさになります。

- 4 左右2カ所のフラッシュを発光させる2灯式照明の採用により、歯面の鏡面反射による“テカリ”の影響を抑えた撮影が可能です。また、撮影モードや撮影倍率に応じた最適な距離でピントが合うようにカメラが自動的にレンズを調整するため、画面を見ながらおおよそのピントが合うように距離を調節するだけで、常に最適な配光で撮影できます。
- 5 被写体との距離をカメラが計測し、その距離に応じてフラッシュ光量を調節することで露出を制御する、フラッシュマッシュ調光を採用しています^{*2}。これにより、被写体の色やカメラとの距離にかかわらず常に適正な露光が可能となり、複雑な設定変更を行うことなく、どんな場面でも安定した撮影が可能です^{*3}。



- 6 マニュアルフォーカス撮影も簡単に行えます。
- 7 暗い口腔内の補助光として、LED照明を内蔵しています。

※1 口腔内撮影の場合は、頬によりフラッシュ光が遮られるため、臼歯部に影が発生することがあります。また、歯牙の排列角度によっては“テカリ”が強くなる場合がありますので、そのときは角度を変えて撮影してください。

※2 特許取得済み(特許第3847319号)

※3 石膏模型など反射が強い被写体を撮影する場合は、調光補正による明るさの補正が必要となることがあります。



注記

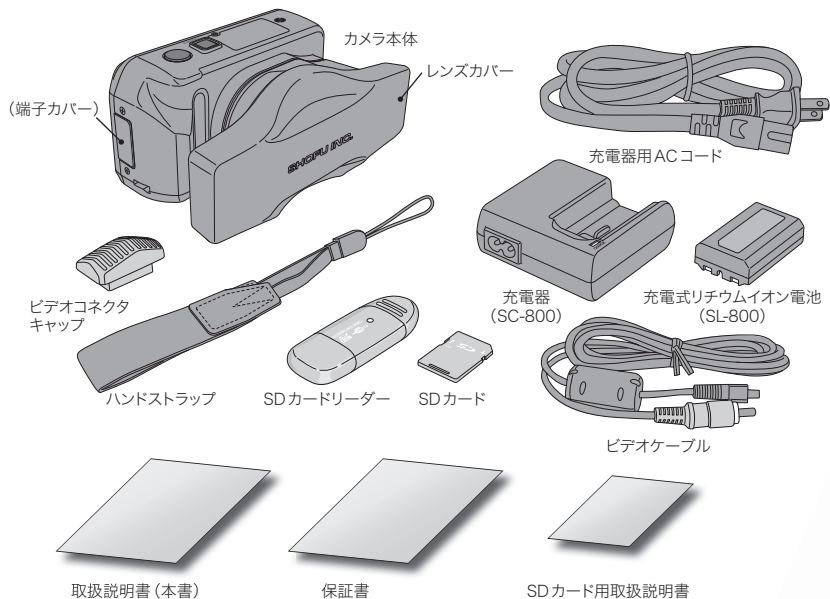
本機は歯科撮影用に特化したレンズを使用しています。このため近距離の撮影にのみ対応し、遠距離撮影は行えません。

用途

- ・ 歯科全般の写真撮影

内容物の確認

ご購入いただいた「アイススペシャル C-I」のパッケージの中身は以下のとおりです。内容をご確認のうえ、不備な点がございましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。



ご用意いただくもの

本機では以下のものを使用します。必要に応じて別途お買い求めください。

- 画像記録媒体 (記録メディア)
SDカード (2GBまで)
- 予備の充電式リチウムイオン電池 (SL-800)

注記 SDHCカードは使用できません。

はじめに.....	ii
お願い.....	ii
知りたい情報を探す.....	iii
特徴.....	iv
用途.....	v
内容物の確認.....	v
ご用意いただくもの.....	v
もくじ.....	vi
1 安全にお使いいただくために.....	1
警告表示について.....	1
その他の表示について.....	1
安全にお使いいただくために.....	2
2 各部の名称とはたらき.....	6
3 前準備について.....	11
前準備.....	11
4 歯科撮影について.....	12
撮影モードについて.....	12
5 使用方法.....	14
撮影前の準備.....	14
基本的な撮影.....	16
撮影モード中に素早く画像を確認・消去する (クイックビュー).....	23
6 応用撮影.....	26
定倍率撮影の方法(倍率を決めて撮影する).....	26
7 こんなときには?.....	28
撮影の“コツ”.....	28
ピントがうまく合わないときの原因と対処.....	29
画面の中央以外にピントを合わせるには?.....	30
明るさを微調整するには?.....	33
片側だけのフラッシュを発光させて撮影する.....	33
8 撮影モード.....	36
画面表示の切り替え(撮影モード時).....	36
設定値変更の表示について.....	37
設定値オートリセット機能について.....	37
画像の明るさの調整(調光補正・露出補正).....	38
フラッシュモード(顔貌モードのみ).....	39
LED点灯モード(標準、ミラー、低反射 モードのみ).....	39
フラッシュ発光位置の切り替え(標準、ミラー、 低反射モードのみ).....	40
レビュー拡大.....	40
撮影モードメニューについて.....	41
フォーカシングスクリーン.....	45
AFエリア.....	45
ホワイトバランス(顔貌モードのみ).....	46
画像サイズ・画質.....	46
ファイルサイズと撮影画像数.....	47
フォーカスモード.....	48
写し込み.....	50

ヘルプインデックス

■ 撮影する前に

- 注意しなければならないことを知りたい (←P.1)
- 液晶モニターの表示の意味を知りたい (←P.8)
- SDカードをフォーマットしたい (→P.61)

■ 撮影するとき

- 撮影したい (←P.16)
- 被写体に適した撮影モードを知りたい (←P.12)
- 撮影した画像をすぐにカメラで確認したい (←P.23)
- あと何枚撮影できるかを知りたい (←P.9)
- 撮影の“コツ”を知りたい (←P.28)
- うまくピントが合わないときの対処方法は? (←P.29)
- 電池の残量を確認したい (←P.17)
- 倍率を決めて撮影したい (←P.26)
- 画像を明るく(暗く)撮影したい (←P.38)
- フラッシュを片側だけ光らせたい/
フラッシュを光らせたくない (←P.39, 40)
- LED照明の点灯モードを変更したい (←P.39)

■ 撮影したあとに

- 画像像を1枚ずつカメラで見たい (→P.57)
- 画像をまとめてカメラで見たい (→P.57)
- 画像を拡大して見たい (→P.58)
- 不要な画像を1枚ずつ消したい (→P.60)
- 不要な画像をまとめて消したい (→P.60)
- 画像をテレビに映したい (→P.58)

■ カメラの設定を変更したい

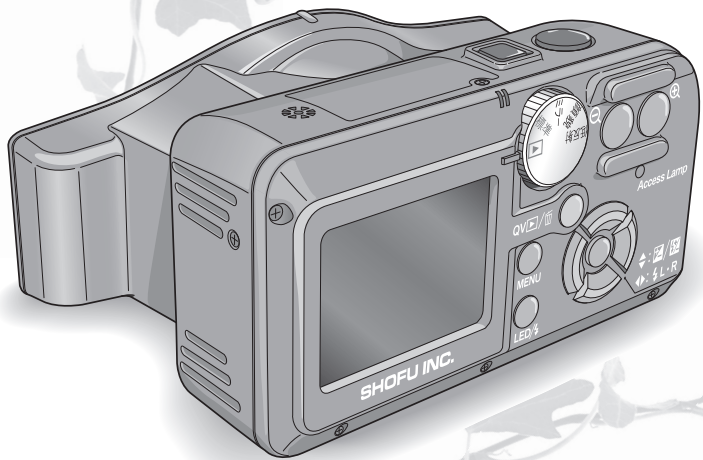
- 変更した設定を、電源をOFFにしたリモード
切り替えダイヤルを回しても保持するように
したい (←P.37)
- 画像のサイズと画質を変更したい (←P.46)
- オートフォーカスを使わずに撮影したい (←P.49)
- 撮影時の条件や日時などを画像に写し込みたい (←P.50)
- 撮影した画像に付く番号を、SDカードを
替えても続き番号になるようにしたい/
撮影した画像に付く番号をリセットしたい (→P.54)
- 画像を日付別のフォルダに分けて保存したい (→P.55)
- 液晶モニターの明るさを調整したい (→P.65)
- 時計の時刻を直したい (→P.65)
- 操作音が鳴らないようにしたい (→P.66)
- 買ったときの状態に設定を戻したい (→P.67)

■ 画像をパソコンに取り込みたい

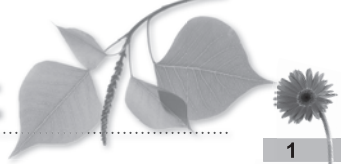
■ カメラを掃除したい

■ カメラの動作がおかしい

	安全にお使いいただくために	1
	各部の名称とはたらき	2
	前準備について	3
	歯科撮影について	4
	使用方法	5
	応用撮影	6
	こんなときは？	7
	撮影モード	8
	再生モード	9
	セットアップモード	10
	撮影した画像をパソコンに取り込むには	11
	付録	12
	取り扱い上の注意	13
	お手入れと保管のしかた	14
	トラブルシューティング	15
	Q&A (よくあるご質問)	16
	仕様	17
	付属品	18
	保証について	19
アフタービュー	50	
設定値オートリセット	51	
プレビュー拡大リセット	51	
ファイルとフォルダ	52	
9 再生モード	56	
画面表示の切り替え (▶再生モード時)	56	
1コマ再生	57	
インデックス再生	57	
拡大再生	58	
画像を素早く消去する	58	
画像をテレビで見る	58	
再生モードメニュー	59	
画像の消去	60	
SDカードのフォーマット (初期化)	61	
プロテクト (誤消去防止)	61	
10 セットアップモード	63	
セットアップモードメニュー	63	
液晶モニターの明るさ調整	65	
日時設定	65	
ビデオ出力形式の切り替え	66	
操作音の設定	66	
パワーセーブまでの時間変更	66	
設定値リセット	67	
11 撮影した画像をパソコンに取り込むには	69	
SDカードリーダーの動作環境	69	
パソコンと接続する	70	
パソコンに画像ファイルをコピー・保存する	70	
接続を解除する	75	
パソコンで画像ファイルを開く	77	
USBドライバのインストール (Windows 98または98 Second Edition)	77	
12 付録	82	
倍率表示について	82	
13 取り扱い上の注意	83	
14 お手入れと保管のしかた	86	
15 トラブルシューティング	87	
撮影中／撮影後	87	
メッセージ表示	88	
16 Q&A (よくあるご質問)	89	
17 仕様	90	
カメラ本体	90	
充電式リチウムイオン電池 SL-800	92	
充電器 SC-800	92	
18 付属品	93	
19 保証について	93	
索引	94	





1 安全にお使いいただくために



本機を安全にお使いいただくために、以下の事項を必ず守ってください。

警告表示について

本書では、安全に関する重要な注意事項を「警告」、「注意」に分類して説明しています。必ず各内容をよくお読みのうえ、厳守してください。各警告表示の内容は次のように定義されています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性があることを表しています。

その他の表示について

警告表示以外については、下記のとおりです。

**注記**

この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、機械が正常に作動しない可能性があることを表しています。

**参考**

この表示は、使用時の作業をわかりやすくするための補足説明です。

安全にお使いいただくために

充電式リチウムイオン電池 SL-800 について

警告

- 電池は、指定のカメラ以外の用途に使用しないこと。また、充電には専用の充電器を使用すること。
発火、破裂、液漏れの原因となります。
- 電池の分解、改造、加熱、および火中・水中への投入は避けること。特に端子部分は濡らさないこと。また、落としたり、大きな衝撃を与えたりしないこと。
危険防止用の安全機構や保護装置が損傷し、発火、破裂、液漏れの原因となります。また異常に気づいたときはすぐに使用を中止し、火気から遠ざけてください。
- 表面が破損した電池は使用しないこと。
電池内部でショート状態となり、発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。
- プラス(+)とマイナス(-)を針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり保管したりしないこと。
ショート状態になり、発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。
- 液漏れの起こった製品の使用はただちに中止すること。
万一電池が液漏れし、液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が手や衣服に付着した場合は、水でよく洗い流してください。
- 適切な温度・湿度条件下で使用や保管を行うこと。
使用時・充電時温度：0°C～40°C
火のそばや炎天下の車中など(60°C以上になるところ)での使用や充電、保管、放置はしないこと。
高温になると安全機構や保護装置が損傷し、発火、破裂、液漏れの原因となります。10°C以下では電池の使用可能時間が著しく短くなります。常温(20°C±5°C)での使用をおすすめします。
保管時温度：-20°C～30°C
湿度：45%～85%
- 電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること。
他の金属と接触すると発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄するか、リサイクルしてください。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること。
そのまま充電を続けると、発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。



警告

- 電池の取り扱いを誤ると、液漏れによる周囲の汚損や、発熱や破裂による火災やケガの原因となるため、次のことを必ず守ること。
 - ・ 指定された電池以外は使わないこと。
 - ・ 電池の極性 (+ / -) を逆にして入れないこと。
 - ・ 表面の皮膜が破れたり、はがれたりした電池は使用しないこと。
 - ・ 電池のショート、分解、過熱、および火中・水中への投入は避けること。また、金属類といっしょに保管しないこと。
- 充電器のACコードは、100～120ボルト、50/60ヘルツ以外で使用しないこと。日本、アメリカ、カナダ、台湾で使用できます。それ以外の国や地域では使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 落下や損傷により内部、特にフラッシュ部が露出した場合は、内部に触れないように電池を抜き(充電器の場合は電源プラグをコンセントから抜き)、使用を中止すること。フラッシュ部には高電圧が加わっていますので、感電の原因となります。またその他の部分も使用を続けると、感電、火傷、火災の原因となります。お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
- 製品および付属品を、幼児・子供の手の届く範囲に放置しないこと。幼児・子供の近くでご使用になる場合は、細心の注意をはらってください。ケガや事故の原因となります。
- フラッシュを人の目の近くで発光させないこと。人の目の近くで発光させる場合は目を保護すること。目の近くでフラッシュを発光させると、視力障害を起こす原因となります。
- 湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で操作したり、水をかけたりしないこと。内部に水が入った場合はすみやかに電池を取り出し(充電器の場合は電源プラグをコンセントから抜き)、使用を中止すること。使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。
- 引火性の高いガスが充滿している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーの近くで本製品を使用しないこと。爆発や火災の原因となります。
- 充電器使用時は、ACコードに重いものを乗せたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、傷つけたり、加熱、破損および加工したりしないこと。またコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜くこと。コードが傷むと火災や感電の原因となります。

警告

- 万一使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き（充電器の場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止すること。電池も高温になっている場合があるので、火傷には十分注意すること。使用を続けると感電、火傷、火災の原因となります。お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
-

注意

- 長時間使用する場合は、皮膚に触れたままにしないこと。
本体の温度が高くなり、低温火傷の原因になることがあります。
 - 長時間の使用後は、すぐに電池やカードを取り出さないこと。
電池やカードが熱くなっているため火傷の原因となります。電源をOFFにして、温度が下がるまでしばらくお待ちください。
 - 発光部に皮膚や物を密着させた状態で、フラッシュを発光させないこと。
発光時に発光部が熱くなり、火傷の原因となります。
 - 液晶モニターを強く押ししたり、衝撃を与えたりしないこと。
液晶モニターが割れるとケガの原因となり、中の液体に触れると炎症の原因となります。中の液体に触れてしまった場合は、水でよく洗い流してください。万一目に入った場合は、洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。
 - 製品および付属品を身体などに強くぶつけないこと。
ケガの原因となります。
 - 充電器の電源プラグを差し込むときは、奥までしっかりと差し込むこと。また、電源プラグを抜くときは、ACコードを持たずに電源プラグを持って引き抜くこと。
火災、感電、火傷、ケガの原因となります。
電源プラグが傷ついたり、差し込みがゆるい場合は使用しないでください。
 - 充電器を布や布団で覆ったり、周りに物を置いたりしないこと。
熱により変形して感電や火災の原因となったり、非常時に電源プラグが抜けなくなったおそれがあります。
 - 長期間使用しないときは、充電器の電源プラグをコンセントから抜くこと。
火災や感電の原因となります。
 - 充電器を電子式変圧機（海外旅行用の携帯型変圧機など）を介してコンセントに接続しないこと。
故障や火災の原因となります。
 - ストラップを必ず手首に掛けて使用すること。
落下によるケガの原因となります。
-

⚠ 注意

- カメラに取り付けた付属品やストラップにゆるみ、がたつき、ひものほつれがないか、定期的に点検すること。
ケガの原因となります。
-

カメラ・充電器のお手入れと保管について

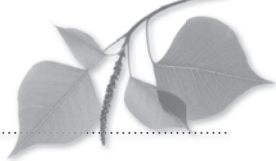
⚠ 警告

- 幼児の口に入るような小さな付属品は、幼児の手の届かないところに保管すること。
幼児が飲み込む原因となります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
 - 充電器のお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜くこと。
火災や感電の原因となります。
 - 分解、修理、改造は絶対に行わないこと。
内部には高圧部分があり、触れると感電の原因となります。また、異常動作によるケガや感電、火災の原因となります。修理や分解が必要な場合は、お買い求めの販売店にご依頼ください。
 - お手入れの際にアルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないこと。
爆発や火災の原因となります。
-

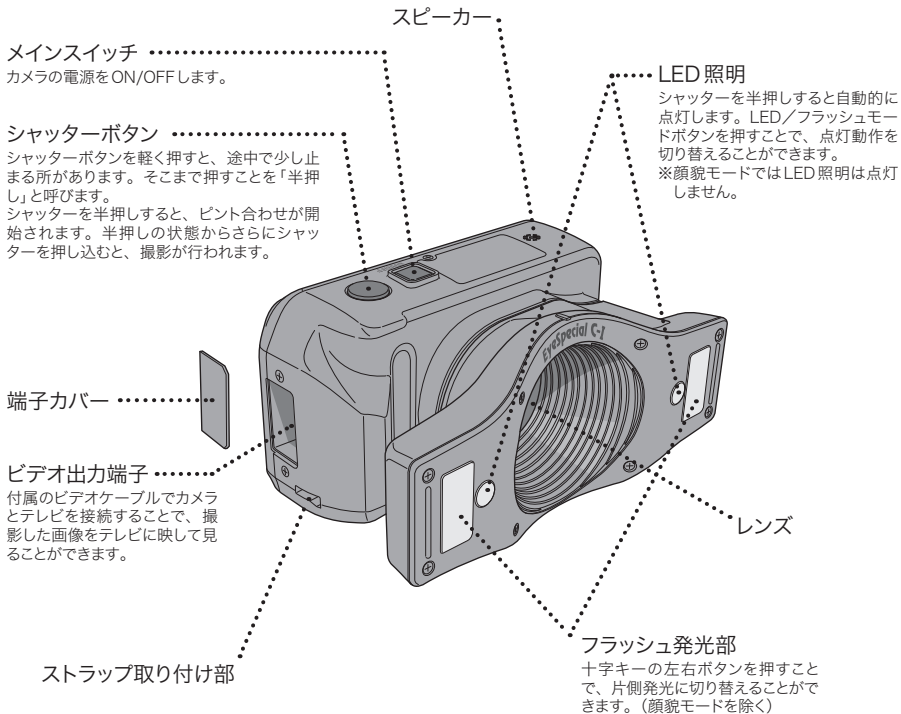
⚠ 注意

- 車のトランクやダッシュボードなど、高温や多湿になるところでの使用や保管は避けること。
外装が変形したり、電池の液漏れ、発熱、破裂による火災、火傷、ケガの原因となります。
-

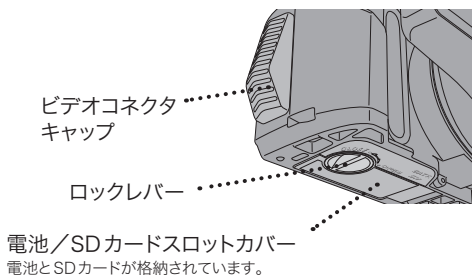
2 各部の名称とはたらき



カメラ前面



カメラ底面





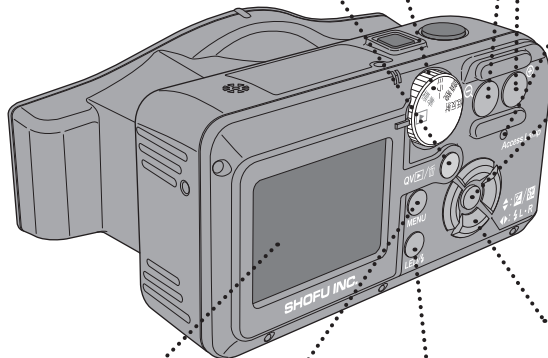
カメラ背面

モード切り替えダイヤル

- 再生モード
- 顔貌モード
- 標準モード
- 低反射モード
- ミラーモード

クイックビュー／消去ボタン

撮影モードで撮影画像を確認することができます。また、撮影した画像を表示しているときに押すと、画像を消去できます。



液晶モニター

撮影画像やメニューなどを表示します。

メニューボタン

メニュー画面を表示させるときに押します。

倍率切り替えボタン

- 【撮影時】
+/- ボタンを押すことで、取りたい倍率を変更できます。
- 【再生時】
+/- ボタンを押すことで、再生中の画像の一部を拡大したり、縮小したりすることができます。

アクセラランプ

SDカードにアクセスしているときに点灯します。ランプ点灯中は、SDカードを抜かないでください。

実行ボタン

- 【撮影時】
プレビュー画面中央部を拡大(×2、×4)して表示できます。
長押しすることで撮影データ表示ON/OFFを切り替えることができます。
- 【再生時】
長押しすることで撮影データ表示ON/OFFを切り替えることができます。
- 【メニュー表示時】
設定項目を確認するときに押します。

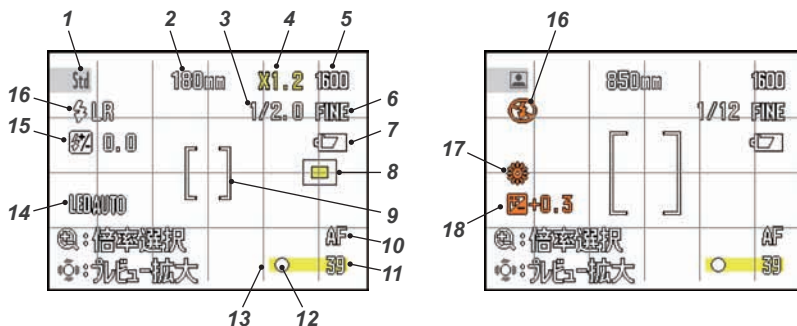
十字キー

- 【撮影時】
上下：調光補正／露出補正
左右：フラッシュ発光部切り替え(顔貌モードを除く)
- 【再生時】
撮影した画像を見るときに先へ送ったり戻したり、画像拡大時に表示場所を移動したりするときに使います。
- 【メニュー表示時】
メニューの設定項目を移動させます。

LED / フラッシュモードボタン

- 【標準、ミラー、低反射モード】
LED点灯モードを変更できます。
- 【顔貌モード】
フラッシュモードを変更できます。

撮影時








標準、ミラー、低反射モードのとき

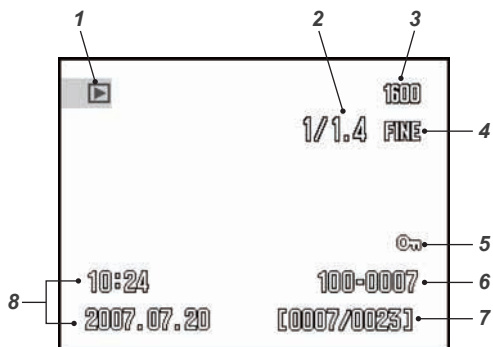
顔貌モードのとき

No.	名称	説明
1	撮影モード表示	現在の撮影モードの状態を表示します。参照 P.12 : [標準モード] : [ミラーモード] : [顔貌モード] : [低反射モード]
2	ワーキングディスタンス表示	カメラ(正中マークの位置)から被写体までの距離を表示します。
3	撮影倍率表示	撮影倍率を表示します。 [シャッターボタンに触れていないとき] 撮影可能な倍率の中心値を表示します。カメラを前後に移動させ、液晶モニターで被写体がくっきりと見える位置にカメラをセットすると、表示されている撮影倍率で撮影できます。 [シャッターを半押ししてAFでピントを合わせたとき] 実際に撮影される撮影倍率を表示します。
4	デジタルズーム倍率表示	デジタルズーム機能が動いているときに、その拡大倍率を表示します。
5	画像サイズ	現在設定されている画像サイズを表示します。参照 P.46
6	画質	現在設定されている画質を表示します。参照 P.46
7	電池容量表示	電池の容量を表示します。参照 P.17 (白) : 電池容量は十分です。(4秒後に消えます) (赤) : 電池の充電または交換をおすすめします。 ※「電池がなくなりました」と画面に表示されると、その後自動的に電源がOFFになります。
8	プレビュー拡大中表示	プレビュー拡大表示中に表示されます。参照 P.40 : プレビュー画面を2倍に拡大 : プレビュー画面を4倍に拡大
9	AFフレーム	オートフォーカスモードでピントを合わせるときの判定エリアを表示します。参照 P.45



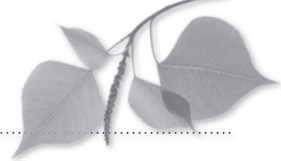
No.	名称	説明
10	フォーカスモード	フォーカスモードの状態を表示します。参照 P.48 AF : オートフォーカスモード MF : マニュアルフォーカス (固定焦点) モード
11	撮影残り画像数	現在の画像サイズと画質の設定で撮影を続けた場合に、あと何枚撮影できるかを表示します。 「000」が表示されたときは、SDカードがいっぱいでこれ以上撮影できないことを表します。
12	フォーカス表示	オートフォーカスでシャッターを半押ししたあとに、ピントが合っているかどうかを表示します。参照 P.48 ○(白) : ピントが合っている ●(赤) : ピントが合っていない
13	フォーカシングスクリーン	構図を決めるために画面内に表示されるスクリーンです。「グリッド」「スケール」「表示なし」から選ぶことができます。参照 P.45
14	LED点灯モード	LED照明の点灯モードを表示します。参照 P.39 オート点灯  : シャッターを半押ししているときだけ、LED照明が点灯します。シャッターを押し込むか、シャッターから指を離すと消灯します。 常時点灯  (橙) : プレビュー中は、常にLED照明が点灯します。シャッターを押し込むと消灯しますが、次のプレビューが始まると、再び点灯します。 点灯なし  (橙) : LED照明は点灯しません。
15	調光補正	調光補正の状態を表示します。参照 P.38
16	フラッシュモード表示	フラッシュの状態を表示します。参照 P.39 [充電の状態]  (赤) : フラッシュ充電中  (白) : フラッシュ充電完了 [フラッシュ発光位置] (標準・ミラー・低反射モードのみ) 参照 P.40  : L・Rのフラッシュが両方発光します。  (橙) : 撮影する人から見て左側のフラッシュだけが発光します。  (橙) : 撮影する人から見て右側のフラッシュだけが発光します。 [フラッシュモード] (顔貌モードのみ)  : オート発光  (橙) : 強制発光  (橙) : 発光なし
17	ホワイトバランス	ホワイトバランスの状態を表示します。参照 P.46
18	露出補正	露出補正の状態を表示します。参照 P.38

再生時



No.	名称	説明
1	再生モード表示	再生モード中であることを表しています。参照 P.56
2	撮影倍率表示	撮影倍率を表示します。
3	画像サイズ	撮影された画像サイズを表示します。参照 P.46
4	画質	撮影された画質を表示します。参照 P.46
5	プロテクト表示	このアイコンが表示されている画像データは、誤消去防止のためにロックされていることを示します。参照 P.61
6	フォルダ番号-ファイル番号	撮影された画像データが保存されるフォルダの通し番号と、画像データのファイル番号を表示します。
7	画像番号-全体の画像数	現在表示されている画像の順番と、全体の画像数を表示します。
8	撮影日時	撮影日時を表示します。

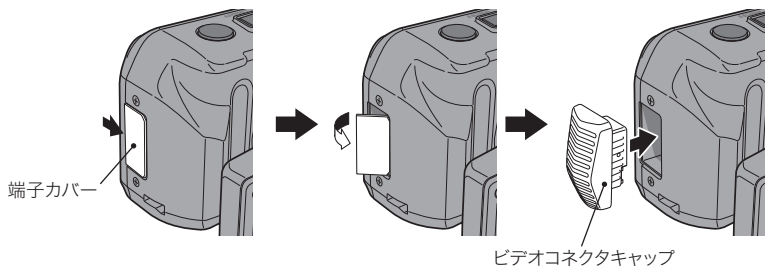
3 前準備について



前準備

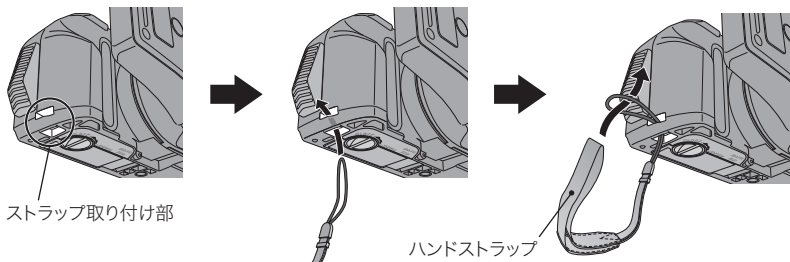
本機のご購入後、一度だけ行なっていただく前準備について説明します。

- 1 お好みに応じて、端子カバーを外してビデオコネクタキャップを取り付けてください。
手の大きな人の場合、ビデオコネクタキャップを取り付けた方が、ホールド性が良くなる場合があります。



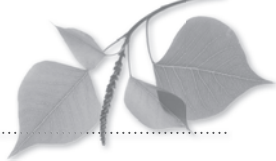
注記 ビデオコネクタキャップは、切り欠きがある側を下向きにして取り付けてください。

- 2 ハンドストラップを取り付けてください。
ハンドストラップの先端をカメラ下部のストラップ取り付け部に差し込んでください。



注記 落下によるケガのおそれがありますので、ハンドストラップは必ず取り付け、必ず手首に掛けてご使用ください。



4 歯科撮影について




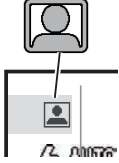

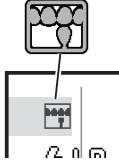
撮影モードについて

本機では、歯科撮影を行うために4つのモードを用意しています。

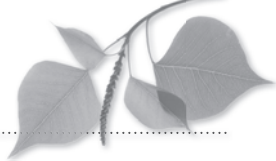
それぞれのモードの用途は次のとおりです。

モード	用途	説明
<p>標準モード</p> 	<p>ミラーを使用しない口腔内撮影、口元撮影、オベ時の記録撮影など。</p> <p>[例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正面鏡 ・前歯唇側面鏡 ・側方鏡 ・口元 ・スマイルライン ・オベ記録 ・技工物 <p>など</p>	<p>歯科撮影における基本の撮影モードです。通常の口腔内撮影には、このモードを使用してください。</p> <p>従来のリングフラッシュと同様に、前歯部から臼歯部まで影のない撮影が可能です。フラッシュ光の鏡面反射による歯面の“テカリ”の影響が少なく、幅広い撮影に対応しています。</p>
<p>ミラーモード</p> 	<p>ミラーを使用した口腔内撮影全般。</p> <p>[例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咬合面鏡 ・上顎口蓋側面鏡 ・下顎舌側面鏡 ・臼歯頬側面鏡 <p>など</p>	<p>ミラー撮影用のモードです。ミラーを使った撮影には、このモードを使用してください。ミラーを使った撮影では、ミラーでの光の減衰により画像が暗くなりますので、[標準モード]よりも明るめにフラッシュが発光します。</p>



モード	用途	説明
<p>顔貌モード</p>  	<p>顔貌、胸像。 [例] ・顔貌 ・胸像 など</p>	<p>顔貌・胸像撮影用のモードです。顔貌や胸像撮影には、このモードを使用してください。 被写体に応じた最適な露出調整を行います。顔貌や胸像画像をきれいに撮影できます。</p>
<p>低反射モード</p>  	<p>前歯部の詳細撮影、前歯部シェードテイキング、石膏模型、技工物の撮影など。 [例] ・前歯部シェードテイキング ・前歯部拡大 ・技工物 ・模型 など</p>	<p>歯の表面に映り込む“テカリ”を抑えるモードです。標準モードよりも前方で撮影することにより、光が側方から照射される効果が得られます。歯面の“テカリ”の影響がさらに少なくなり、歯列全体が均一な明るさになります。シェードテイキングなど、歯冠色の詳細撮影に適しています。</p>

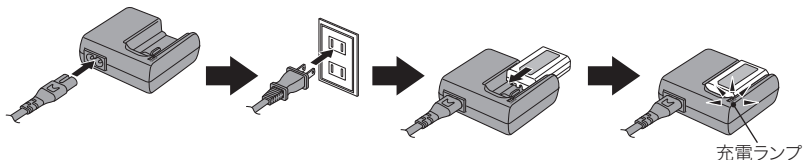
5 使用方法



●「1 安全にお使いいただくために」の ⚠ 警告 および ⚠ 注意 を守ってください。

撮影前の準備

- 1 カメラ専用電池 (SL-800) を付属の充電器 (SC-800) で充電してください。
接点部分を充電器側に向け、充電器の突起と電池のみそが合うように挿入してください。



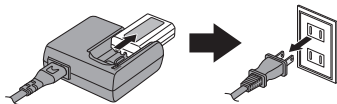
- ・充電中は充電ランプが点灯します。
- ・充電時間は約90分です。1回のフル充電でおよそ250枚の撮影が可能です。



P.83「電池について」

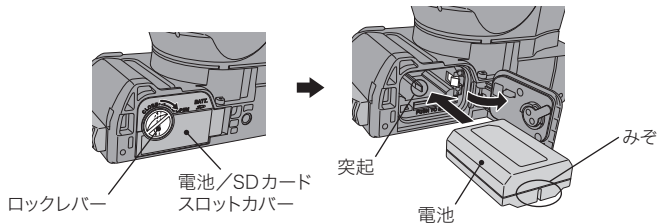
- 2 充電器の充電ランプが消えたら、電池を取り外してください。

電池を取り外したら、充電器のACコードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

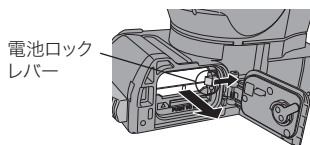


- 3 カメラ本体下面のロックレバーを「OPEN」の方向に回して、「電池/SDカードスロットカバー」を開け、電池を挿入してください。

- ・接点部分をカメラ側に向け、電池室内の突起と電池のみそが合うように挿入してください。
- ・電池とSDカードの挿入に順序はありません。先にSDカードを挿入してもかまいません。

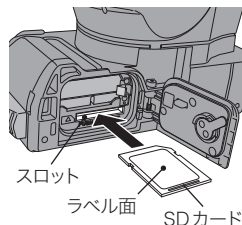


カメラから電池を取り出すときは、カメラの電源がOFFになっていることを確認してから、電池ロックレバーを押してください。

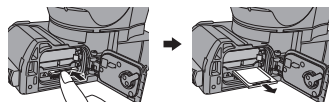


4 SDカードをスロットに挿入してください。

- ・中央部を真っすぐに押し込みます。ゆっくりと確実に「カチッ」と音がするまで挿入してください。
- ・SDカードが奥まで入らない場合は、無理に押し込まずにいったん引き抜き、挿入方向を確認してください。



SDカードを取り出すときは、カメラの電源をOFFにして、アクセラランプが点灯していないことを確認してから、カードを一度押し込んで指を静かに離してください。SDカードが押し出されますので、指でつまんで取り出してください。



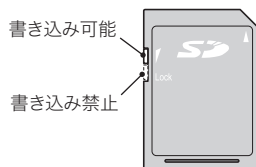
- ・本機ではSDHCカードは使用できません。
- ・SDカードの向きに注意してください。破損のおそれがあります。
- ・アクセラランプが点灯しているときは、絶対にSDカードを取り出さないでください。SDカード内のデータが破損する原因となります。
- ・長時間使用した直後のSDカードは熱くなっていますので、火傷の原因となります。電源をOFFにして、温度が下がるまでしばらくお待ちください。



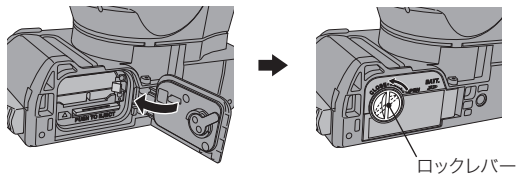
ワンポイント

●ライトプロテクトスイッチについて

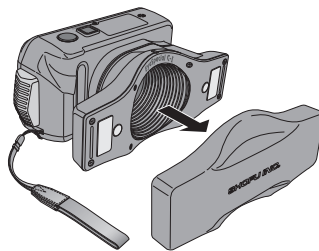
SDカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが付いています。このスイッチを下にスライドさせると、SDカードへのデータの書き込みが禁止され、SDカード内の画像を保護することができます。撮影を行う場合は、スイッチを上スライドさせてください。



5 「電池／SDカードスロットカバー」を閉めて押さえながら、ロックレバーを「CLOSE」の方向に回して固定してください。



6 レンズカバーを外してください。

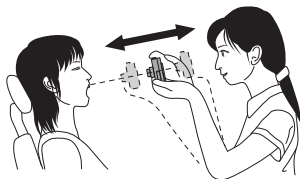


基本的な撮影

はじめに

本機は、歯科撮影専用に設計されているため、一般のデジタルカメラのようなさまざまな距離からの撮影機能は省いています。最適条件での撮影を実現するために、被写体との距離をある一定の範囲内に制限する必要があります。

● 一般のデジタルカメラ



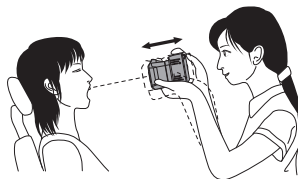
[長所]

- ・どこからでも撮影できる。
※ 近づきすぎると撮影できなくなります。

[短所]

- ・いつも同じ大きさで撮影できない。
- ・配光の条件が一定でない。

● アイススペシャル C-I



[長所]

- ・一定の大きさを決めて撮影できる。
- ・一定の配光条件で撮影できる。

[短所]

- ・撮影できる距離に制限がある。

1 メインスイッチを押して電源をONにしてください。
電源をOFFにするときも、電源をONにするときと同様にメインスイッチを押してください。


メインスイッチ



ワンポイント

- 電源をONにしたときに「日付/時刻を設定してください」のメッセージが現れたときは？



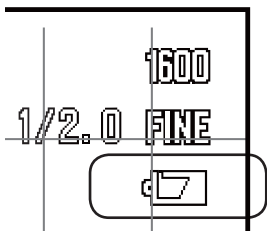
このメッセージが現れたら、日時の設定データが失われていますので、設定し直してください。[はい]を選んで十字キー中央の実行ボタン  を押し、日時設定画面が表示されます。

参照 P.65 「日時設定」



カメラに電池を入れると、カメラの電源がON/OFFの状態にかかわらず、日付・時刻記憶用の内蔵バックアップ電池の充電が開始されます。このバックアップ電池をフル充電するには約24時間かかります。フル充電後はカメラの電池を抜いている間も、内蔵バックアップ電池が約24時間、設定を記憶していますので、この間に電池を交換してください。カメラの電池を長時間抜いたため設定が消えた場合は、日付・時刻を再設定してください。

ワンポイント

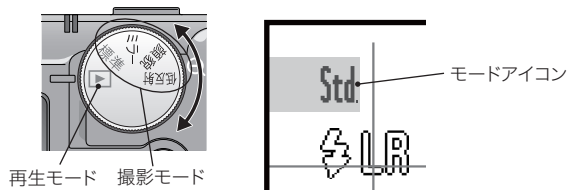
- 電池容量を確認するには？



電源をONにすると、電池の容量が液晶モニターに表示されます。

表示	電池容量
 白色点灯 (約4秒後に消灯)	電池容量は十分です。
 赤色点灯	電池の充電または交換をおすすめします。 この状態でも撮影できます。
電池がなくなりました (アクセスランプ点滅)	メッセージ表示後、自動的に電源がOFFになります。電池を充電、または交換してください。

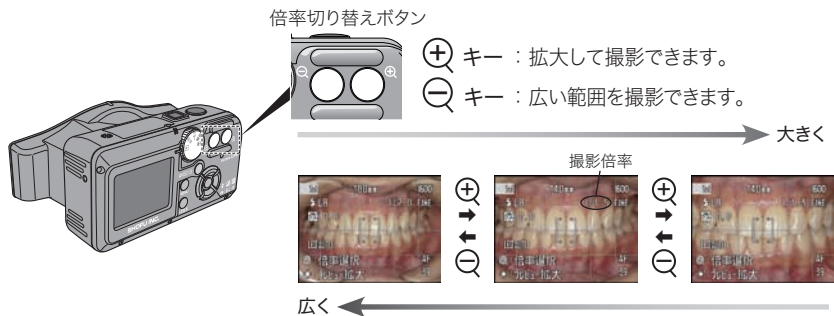
- 2 モード切り替えダイヤルを回して撮影モードを選択してください。
 選択されたモードを表すモードアイコンが、画面左上に表示されます。



	ダイヤル表示	モードアイコン	名称
撮影モード	標準		標準モード
	ミラー		ミラーモード
	顔貌		顔貌モード
	低反射		低反射モード
再生モード			-

参照 P.12「撮影モードについて」

- 3 撮影したい大きさに合わせて倍率切り替えボタンを押してください。
 選択された倍率が、画面右上に表示されます。







参考

「+」キーまたは「-」キーを連続して断続的に素早く押しと、スムーズに倍率を変更できます。

●撮影倍率の目安

撮影倍率の目安は、次のとおりです。




① 標準モード

正面観	側方観	口元	スマイルライン
			
1/1.5 ~ 1/2	1/2 ~ 1/2.5	1/3 ~ 1/4	1/3 ~ 1/4

② ミラーモード

咬合面観	上顎口蓋側面観	前歯舌側面観
		
1/2 ~ 1/2.5	1/1.3 ~ 1/1.5	1/1 ~ 1/1.3

③ 顔貌モード

顔貌(横)	顔貌(縦)	胸像(縦)
		
1/10、1/12	1/10	1/12

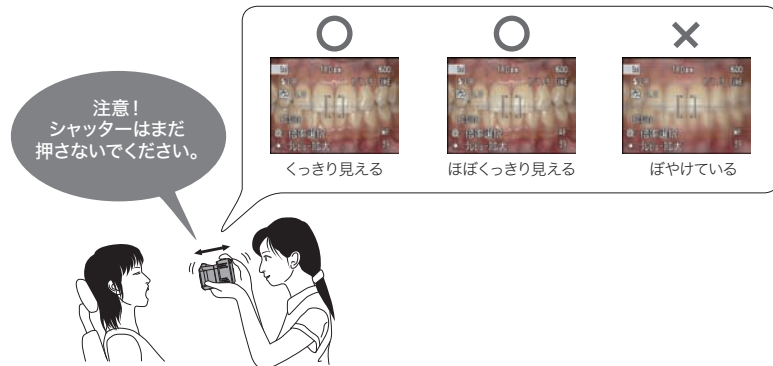
④ 低反射モード

シェードテイキング	前歯部拡大	技工物	石膏模型
			
1/1.3 ~ 1/1.5	1.4 ~ 1/1	1.4 ~ 1/1.3	1.4 ~ 1/2



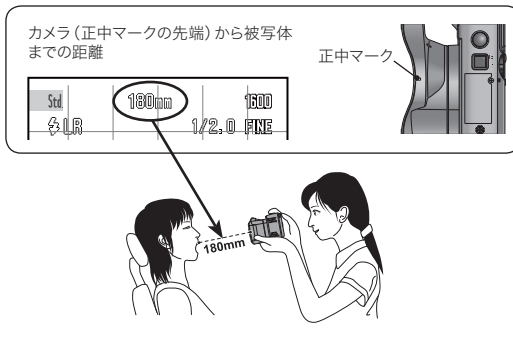
4 シャッターを押さずに、液晶モニターに被写体がおおよそくっきりと見えるように、カメラを前後に移動させてください。

脇を締め、左手でカメラの下側を持って支えると、手ぶれや構図のずれが起りにくくなります。



ワンポイント

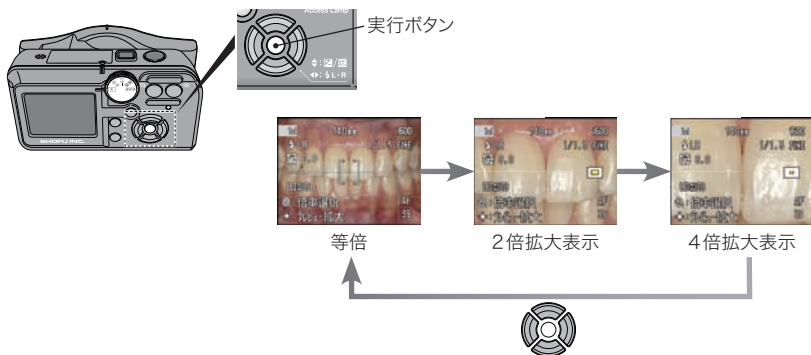
カメラを構える位置は、画面上部に表示されるワーキングディスタンス表示 (mm) を目安にしてください。



- 注記**
- 必ずハンドストラップを手首に掛けて撮影してください。
 - 本機を患者様の身体などにぶつけないように注意してください。

ワンポイント

十字キー中央の実行ボタンを押すと、プレビュー画面の中央部を2倍または4倍に拡大して表示することができます。ピント合わせが簡単になります。



5 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。

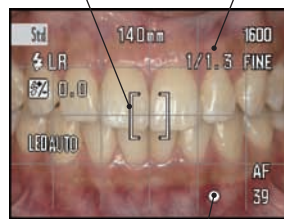
- ・ 2倍または4倍に拡大表示しているときでも、等倍表示に戻ります。
- ・ [] の位置にピントが合います。
- ・ ピントが合うと「ピッ」という電子音が鳴り、画面右下に白い○が表示されます。



画面右下に赤い●が表示された場合は、ピントが合っていません。被写体との距離が撮影可能範囲内かどうか確認してください。

参照 P.29 「ピントがうまく合わないときの原因と対処」

ピントを合わせたい場所に [] を合わせて、シャッターを半押しする



- ：ピントが合っている
- ：ピントが合っていない

シャッターを半押しすると表示され、ピントが合ったかどうかを確認できます。


6 ピントが合ったら、シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

シャッターを押し込むときに体を動かさないようにすると、構図のずれが発生しにくくなります。



注記 フラッシュの光がまぶしいため、患者様に目を閉じるようにご指示ください。

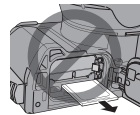
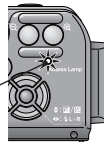
7 撮影した画像が約5秒間表示され、そのあと自動的に保存されます。(アフタービュー機能)

表示をキャンセルしてすぐに次の撮影を行いたい場合は、シャッターボタンを半押しするか、十字キー中央の実行ボタン  を押してください。すぐに画像が保存されて次の撮影に移ることができます。




注記 SDカードへの保存中はアクセランプが点灯しますので、その間はSDカードや電池を抜かないでください。

アクセランプ



参考

- ・フラッシュの発光量を安定させるために、画面左上のフラッシュモード  の表示が赤から白に変化してから5秒以上待ってから撮影することをおすすめします。
- ・アフタービュー表示を行わないように設定を変更することもできます。

参照 P.50「アフタービュー」

8 撮影が終わったら、メインスイッチを押してカメラ本体の電源をOFFにしてください。

ワンポイント

●パワーセーブについて

このカメラは、初期設定で約3分以上何も操作を行わないと、自動的に電源がOFFになります。

- ・パワーセーブまでの時間を、変更することもできます。

参照 P.66「パワーセーブまでの時間変更」

- ・パワーセーブの状態から復帰するには、再度メインスイッチを押して、電源をONにしてください。

撮影モード中に素早く画像を確認・消去する(クイックビュー)

撮影中に再生モードに切り替えることなく、撮影した画像を素早く確認したり、消去することができます。

画像を確認する

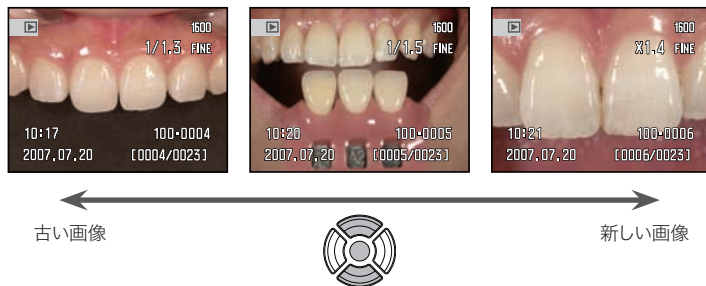
撮影した画像を画面に表示させて、確認することができます。


- 1 クイックビュー/消去ボタンを押してください。
直前に撮影された画像が、液晶モニターに表示されます。



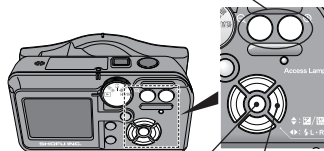
- 2 十字キーの左または右キー  を押して、見たい画像を選択してください。

右キーを押すと新しい画像が、左キーを押すと古い画像が順に表示されます。



- ・倍率切り替えボタンを押すと、画像を部分的に拡大/縮小できます。
- ・拡大中の画像は、十字キーを使って上下左右にスクロールすることもできます。
- ・十字キー中央の実行ボタン  またはメニューボタンを押すと、元の大きさに戻ります。

倍率切り替えボタン

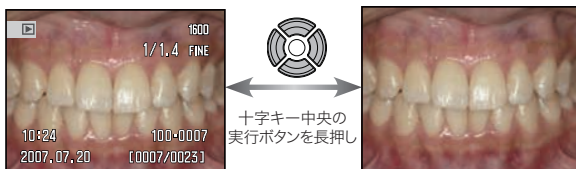


元の大きさに戻す
スクロール (拡大表示中)

- 3 シャッターボタンを半押しすると、撮影モードに戻ります。
メニューボタンを押しても撮影モードに戻ります。




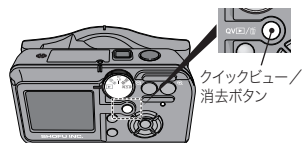
画像表示中に十字キー中央の実行ボタン  を長押しすると、撮影データ表示あり/なしを切り替えることができます。




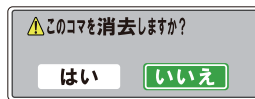
画像を消去する

クイックビューの状態で、画像を簡単に消去できます。

- 1 撮影したあと、クイックビュー/消去ボタンを押してください。
直前に撮影された画像が、液晶モニターに表示されます。
- 2 十字キーの左または右キー  を押して、消去したい画像を選択してください。
- 3 もう一度クイックビュー/消去ボタンを押してください。




右の画面が表示されます。
消さない場合は、この状態で十字キー中央の実行ボタン  を押してください。



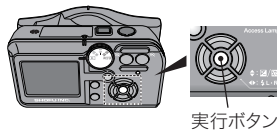
- 4 十字キーの左キー  を押して「はい」を選択してください。



- 5 十字キー中央の実行ボタン  を押してください。
選択した画像が消去されます。



このあと、手順2に戻って続けて画像を消去することもできます。



- 6 シャッターボタンを半押しすると(またはメニューボタンを押すと)、通常の撮影モードに戻ります。



ワンポイント

●SDカードなしでの撮影について

このカメラは、SDカードが挿入されていなくても、撮影と再生を行うことができます。この場合、画像はカメラ内部のメモリーに一時的に保存されますが、このメモリーは1コマ分の容量しかないため、撮影のたびに新しい画像に書き換えられます。したがって、再生で表示できるのは、最後に撮影した画像だけとなります。

また、カメラの電源をOFFにすると、メモリーに保存されていた画像は消去されます。いったんメモリーに保存された画像はSDカードには保存できませんので、再生中にSDカードを差し込まないでください。SDカード内のデータが破損する可能性があります。



ワンポイント

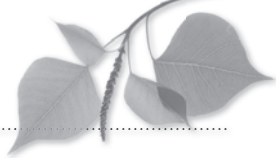
●処理中の反応について

倍率を変更した直後、シャッターを半押しした直後、撮影した直後などは、レンズをモーターで駆動していたり、SDカードにアクセスしていたり、カメラで内部処理を行なっていますので、瞬時に次の操作に反応しないことがあります。

操作に反応しないときは、ひと呼吸おいてから、もう一度操作してください。



6 応用撮影



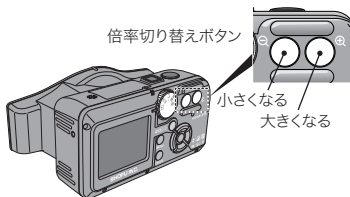
- 「1 安全にお使いいただくために」の **△ 警告** および **△ 注意** を守ってください。

定倍率撮影の方法 (倍率を決めて撮影する)

- 1 倍率切り替えボタンを押して、撮影したい倍率を決めてください。



選択された倍率が画面右上に表示されます。



各モードの撮影可能倍率

標準モード	1.0、1/1.3、1/1.5、1/2、1/2.5、1/3、1/4
ミラーモード	1.0*、1/1.3、1/1.5、1/2、1/2.5、1/3、1/4
顔貌モード	1/10、1/12
低反射モード	1.4*、1.2*、1.0、1/1.3、1/1.5、1/1.8、1/2

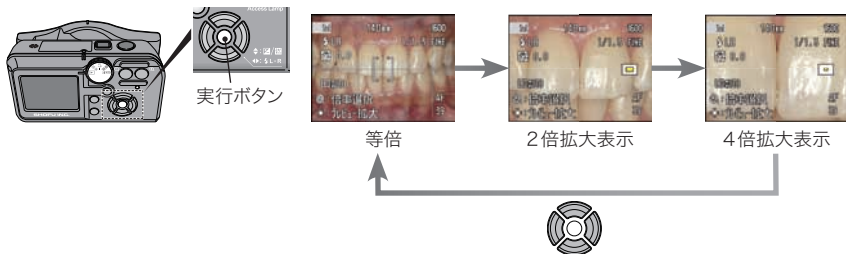
※ デジタルズームが併用されます。

- 2 十字キー中央の実行ボタン  を押して、見やすい大きさを選んでください。



実行ボタンを押すごとに、プレビュー画面が等倍→2倍→4倍→等倍…と変化します。

参照 P.40 「プレビュー拡大」

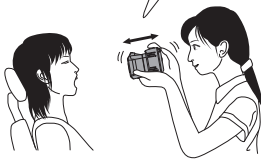


3 シャッターボタンを押さない状態で、液晶画面に被写体がくっきりと見えるように、カメラを前後に移動させてください。

参考

被写体が暗くて見えにくい場合は、LED照明を「常時点灯」に切り替えてください。

参照 P.39「LED点灯モード(標準、ミラー、低反射モードのみ)」



4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。

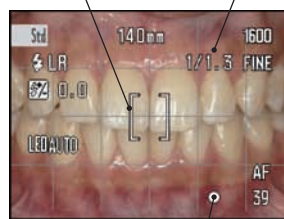
参考

- ・2倍または4倍に拡大表示しているときでも、等倍表示に戻ります。
- ・シャッターボタンを半押ししたあとに、実際に撮影される倍率が表示されます。

注記

本機で表示される撮影倍率は、フォーカスの検出誤差や個体差などにより、実際の倍率と一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。

ピントを合わせたい場所に「[]」を合わせて、シャッターを半押しする



○ : ピントが合っている
● : ピントが合っていない

5 画面右上に表示された撮影倍率を確認してください。

- ・表示された倍率で撮影する場合→手順6へ進んでください。
- ・表示された倍率を微調整したい場合→手順3に戻り、再度距離を調節してください。

参考

- 例) ・1/2.4を1/2.5に調節する場合→少し被写体から離れてください。
・1/2.6を1/2.5に調節する場合→少し被写体に近づいてください。

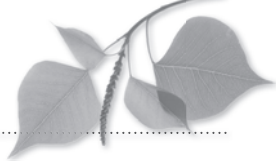
6 撮影倍率が決まったら、シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

ワンポイント

マニュアルフォーカスモード(固定焦点)で撮影を行う場合も、定倍率撮影になります。

参照 P.49「マニュアルフォーカスモード(固定焦点)」

7 こんなときには？



この章では、アイススペシャル C-Iをお使いいただくうえで、知っておくと便利な情報や、より確実に口腔内撮影を行うためのテクニックやヒントを記載しています。



注記

これらの内容は参考情報であり、設定の変更によって最適な画像が撮影できることを保証するものではありません。また、記載されている撮影のテクニックを使うことによって確実に最適な画像が得られることを保証するものでもありません。あらかじめご了承ください。

撮影の“コツ”

カメラの構え方の“コツ”

手ぶれ防止のために

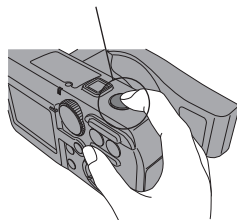
- ・片足を軽く踏み出して上半身を安定させる
- ・壁やユニットなどの動かない物体にもたれる
- ・机などに肘をつくなど



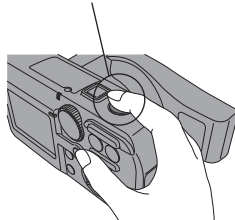
脇を締め、左手でレンズの下側を持って支える

シャッター操作の“コツ”

指先でシャッターを押すとカメラがぶれやすくなる



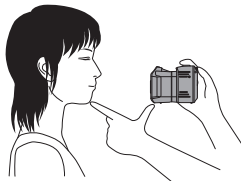
指の腹でシャッターを押すとカメラがぶれにくい



上の図のように、指の長い人が指先でシャッターボタンを押し込もうとすると、押した瞬間にカメラが動き、構図がずれることがあります。指の腹の部分でゆっくりシャッターボタンを押し込むと、押した瞬間のカメラの動きが少なくなり、構図のずれを抑えることができます。

構図を安定させる“コツ”

下の図のように、人差し指を患者様のおごなどに固定し、親指をカメラのフラッシュ下部の凹み部分などに当てて撮影すると、構図を安定させることができます。



ピントがうまく合わないときの原因と対処

原因1 ～ピントを合わせようとした場所のコントラストが低い～

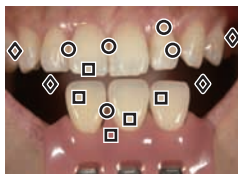
対処方法⇒コントラストの高い位置でピントを合わせてください。

【解説】

本機のオートフォーカスのピント合わせは、被写体のコントラスト（明暗差）を利用しています。したがって、コントラストが低いときはピントが合いにくいことがあります。口腔内撮影を行うときは、歯間部や歯頸部などの、コントラストの高い部分にAFエリア【】を移動させてピントを合わせてください。



- ・ピントを合わせやすい場所と合わせにくい場所



- 示したような明るくコントラストが高い部分に、AFエリア【】を合わせる
- コントラストが低い(x)
- 明るくコントラストが高い(○)
- ◇ 暗い(x)

- ・ひらがなやカタカナなど、シンプルな文字や図形を撮影する場合、AFエリア内の無地の割合が多くコントラストが上手く検出できないことがあります。そのときは、できるだけ複雑な文字や模様などにピントを合わせてください。

原因2 ～ピントを合わせたあとにカメラが前後に動いた～

対処方法⇒しっかりとカメラを構えて撮影してください。

【解説】

シャッターを半押ししてピントを合わせたあとに、カメラまたは被写体が前後に動き、ピント位置がずれたことが原因と考えられます。上半身を安定させて、しっかりとカメラを構えて撮影してください。

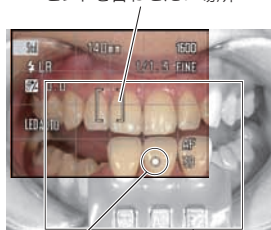
画面の中央以外にピントを合わせるには？

- 1 ピントを合わせたい場所に画面中央のAFエリア『』を合わせ、シャッターボタンを半押ししてください。



- ・ピントを合わせた場所でフォーカスが固定されます。(これをフォーカスロックと呼びます)
- ・ピントが合うと「ピッ」という電子音が鳴り、画面の右下に白い○が表示されます。
- ・画面の右下に赤い●が表示された場合は、ピントが合っていません。被写体までの距離が撮影可能範囲内か確認してください。

ピントを合わせたい場所



- ：ピントが合っている 撮りたい構図
●：ピントが合っていない

- 2 シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図にカメラを移動させてください。

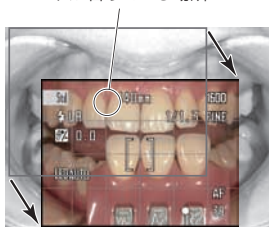


- 注記** シャッターボタンから指を離さないように注意してください。



- 参考** 構図が大きく変わってピントがずれた場合は、いったんシャッターボタンから指を離し、再度ピントを合わせてください。

ピントが合っている場所



- 3 シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

構図別の推奨ピント位置と撮影モード

● 前歯部拡大

[ピント位置]

歯間部などのコントラストの高い部分にピントを合わせてください。

[最適撮影モード]

低反射モード



● シェードテイキング

[ピント位置]

シェードテイキング対象歯、またはシェードガイドのコントラストの高い部分にピントを合わせてください。

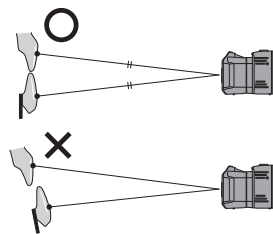
[最適撮影モード]

低反射モード



参考

- ・シェードテイキングの場合は、撮りたい部位に近い場所でピントを合わせることをおすすめします。
- ・対象歯とシェードガイドの前後方向の位置がずれると、明るさや色調が微妙に変化します。できるだけ同じ位置になるように、シェードガイドを保持してください。



● 正面観

[ピント位置]

側切歯と犬歯の歯間部などのコントラストの高い部分でピントを合わせてください。

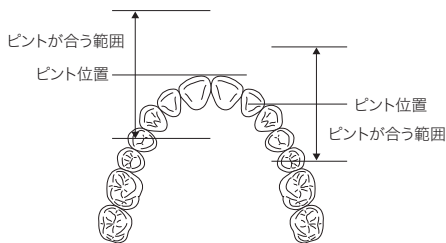
[最適撮影モード]

標準モード



参考

- ・中切歯の歯間部でピントを合わせるよりも、側切歯と犬歯の歯間部でピントを合わせた方が、ピントの合う範囲が臼歯寄りになり、臼歯部にもピントが合いやすくなります。



- ・中切歯が著しく前突している場合は、中切歯にピントが合わない場合があります。その場合は、中切歯と側切歯の歯間部などでピントを合わせてください。

● 側方観

[ピント位置]

犬歯と小白歯の歯間部など、コントラストの高い部分でピントを合わせてください。

[最適撮影モード]

標準モード



● 咬合面観

[ピント位置]

臼歯咬合面または前歯切端部にピントを合わせてください。

[最適撮影モード]

ミラーモード



口蓋にピントが合うと咬合面が不鮮明になるため、臼歯咬合面または前歯切端部でピントを合わせてください。



● 直接ピント合わせが難しいもの

[ピント位置]

インプラントなど、細くて照準を定めるのが難しい被写体の場合は、近くの別の被写体にピントを合わせてください。

[最適撮影モード]

標準モード



カメラから見て、撮りたい物との前後差が少ない被写体を選択してください。



明るさを微調整するには？

ミラーモードでミラー観の撮影を行なっても、ミラーの反射率によっては画像が明る過ぎる、または暗過ぎることがあります。また、石膏模型のような光の散乱が強い被写体を撮影する場合は、画像が明るくなり過ぎることがあります。このような場合は、明るさを微調整してください。

参照 P.38「画像の明るさの調整（調光補正・露出補正）」



石膏模型を撮影するときは、標準または低反射モードで調光補正を「-0.3」～「-0.7」に設定してください。

片側だけのフラッシュを発光させて撮影する


次のような場合、フラッシュを片側だけ発光させることによって解決できることがあります。

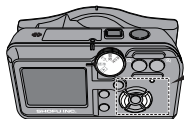
- ・白歯部を撮影する場合に、頬により影が発生する
- ・石膏模型を撮影する場合に、立体感がない画像になる



片側だけを発光させたときも、発光量は自動的に調節されますので、正しい露出で撮影できます。

発光部の選択方法

十字キーの左または右キー  を押すと、フラッシュの発光位置を「LR発光」「L側発光」「R側発光」の中から選ぶことができます。



LR発光



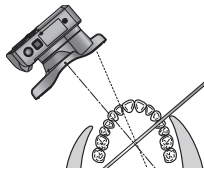
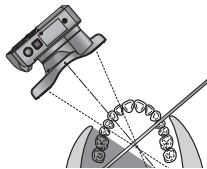
L側発光



R側発光

白歯部撮影

白歯部を撮影する場合、(a)の画像のように影の影響で最後白歯が暗くなることがあります。片側だけのフラッシュを発光させると、(b)の画像のように影の影響を少なくできます。



(a) 両側を発光させた場合



(b) 片側だけ発光させた場合

石膏模型撮影

石膏模型は色の変化が少ないため、両側のフラッシュを発光させて撮影すると(a)のように陰影の少ない画像になることがあります。

その場合、少し角度を変えて撮影するか、または左右どちらか片側だけを発光させて撮影すると、(b)、(c)のように陰影が付いて立体感のある画像になります。



(a) LR発光



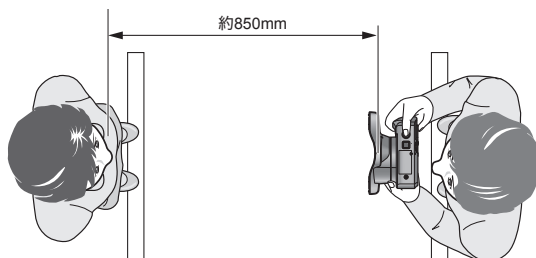
(b) R側発光



(c) L側発光

顔貌モードの“コツ” (その1)

顔貌モードでは、目測では距離を合わせにくいため、下図のように目印を付けておくことで距離を合わせやすくなり、便利です。



[ワーキングディスタンスを850mmに合わせるとき]

- 1 ワーキングディスタンスが約850mmになるように、床にビニールテープなどで患者様と撮影者の立つ位置に印を付けてください。
- 2 印を付けた位置にそれぞれ立ち、撮影してください。

顔貌モードの“コツ” (その2)

フラッシュを発光させて撮影すると、被写体の背景に影が映り込んだり、背景が暗くなったりすることがあります。フラッシュを発光なしにすると、影のない、全体が明るい画像を撮影できます。

参照 フラッシュの発光モードを切り替える→P.39「フラッシュモード (顔貌モードのみ)」

フラッシュを発光させずに撮影する場合は、十分に明るい場所で行なってください。また、手ぶれを防止するため、しっかりと構えて撮影してください。

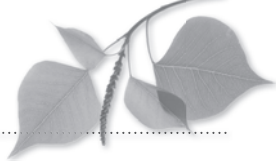


フラッシュ発光ありのとき







フラッシュ発光なしのとき

8 撮影モード



この章では、撮影モードにおける各種設定について説明しています。モード切り替えダイヤルは「標準」「ミラー」「顔貌」「低反射」のいずれかの位置に合わせてください。




撮影モードのときは、液晶モニターの左上に 、、、 のいずれかのアイコンが表示されます。



画面表示の切り替え (撮影モード時)

画面内の撮影データ表示の有無を切り替えることができます。

参照 それぞれの表示内容について → P.8「撮影時」

1 十字キーの中央の実行ボタン  を長押ししてください。

・ ボタンを長押しすること、画面が交互に切り替わります。

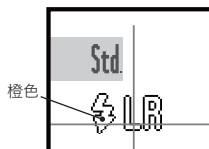


・ この取扱説明書では、撮影データありの状態 (左側の画面) で説明しています。

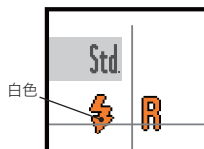
設定値変更の表示について

本機では、標準設定から変更された設定値は橙色で表示されます。

例) フラッシュ発光位置を変更した場合



標準設定 (LR 発光のとき)

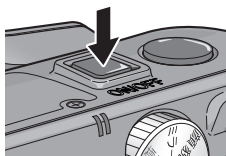


R側発光に変更したとき

設定値オートリセット機能について

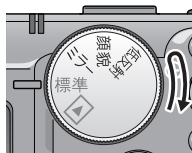
本機には、電源をOFFにしたとき、またはモード切り替えダイヤルを回したときに、それまでに変更された設定の一部を自動的に初期設定に戻す「設定値オートリセット」機能が搭載されています。なお、「設定値オートリセット」機能を解除することもできます。

リセットの方法



電源をOFFにする

または



モード切り替えダイヤルを回す

「設定値オートリセット」で初期設定に戻る項目

- ・フォーカシングスクリーン (P.45)
- ・フォーカスモード (P.48)
- ・AFエリア (P.45)
- ・調光補正 (P.38)
- ・ホワイトバランス (P.46)
- ・露出補正 (P.38)
- ・画像サイズ・画質 (P.46)
- ・フラッシュモード (P.39、40)
- ・撮影データ表示 (P.36)


参照 P.51 「設定値オートリセット」

画像の明るさの調整 (調光補正・露出補正)

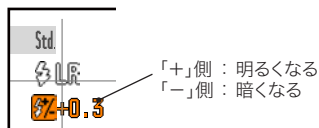
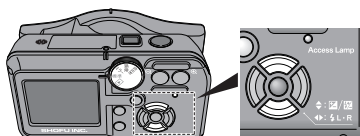
標準の設定より、画像を明るくしたり、暗くすることができます。

標準、ミラー、低反射モードのとき

シャッター速度・絞り値を変更せずに、フラッシュの発光量を補正します。(調光補正)
-1.0 ~ +1.0の範囲で、1/3ステップずつ選択できます。

1 十字キーの上または下キー  を押してください。



上キーを押すと「+」側に、下キーを押すと「-」側に補正值が変化します。

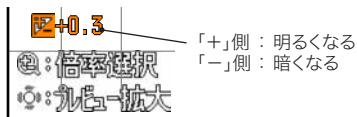
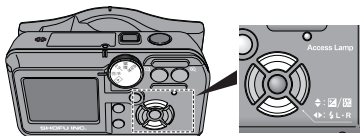


顔貌モードのとき

シャッター速度、絞り値を変更することにより補正します。(露光補正)
-2.0 ~ +2.0の範囲で、1/3ステップずつ選択できます。

1 十字キーの上または下キー  を押してください。


- ・ 上キーを押すと「+」側に、下キーを押すと「-」側に補正値が変化します。
- ・ フラッシュモードが  AUTO (オート発光) または  (強制発光) のときは、露出補正は行えません。




フラッシュモード (顔貌モードのみ)

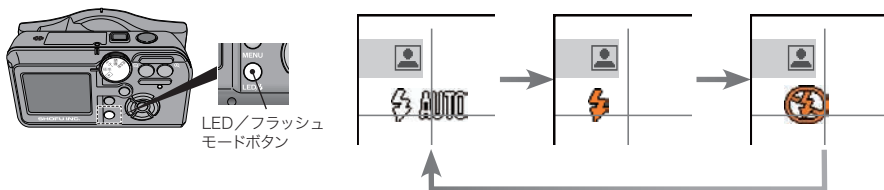
フラッシュの発光モードを「オート発光」「強制発光」「発光なし」の中から選ぶことができます。初期設定は「オート発光」です。

オート発光  カメラが撮影現場に合わせて自動的に発光のON/OFFを切り替えます。

強制発光  必ずフラッシュを発光させて撮影します。


発光なし  フラッシュを発光させずに撮影します。

- 1 LED/フラッシュモードボタンを押してください。
ボタンを押すごとにモードが切り替わり、画面が次のように変わります。



LED点灯モード (標準、ミラー、低反射モードのみ)

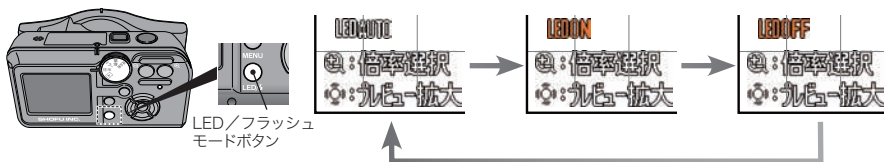
LED照明の点灯モードを「オート点灯」「常時点灯」「点灯なし」の中から選ぶことができます。初期設定は「オート点灯」です。

オート点灯  シャッターボタンを半押ししているときだけ、LED照明が点灯します。シャッターボタンを押し込むか、シャッターボタンから指を離すと消灯します。

常時点灯  プレビュー中は、常にLED照明が点灯します。シャッターボタンを押し込むと消灯しますが、次のプレビューが始まると再び点灯します。

点灯なし  LED照明は点灯しません。




- 1 LED/フラッシュモードボタンを押してください。
ボタンを押すごとにモードが切り替わり、画面が次のように変わります。




参考 顔貌モードでは、LED照明は点灯しません。

フラッシュ発光位置の切り替え(標準、ミラー、低反射モードのみ)

フラッシュの発光位置を「LR発光」「L側発光」「R側発光」の中から選ぶことができます。

- LR発光 両側のフラッシュが発光します。
- L側発光 撮影を行う人から見て、左側のフラッシュだけが発光します。
- R側発光 撮影を行う人から見て、右側のフラッシュだけが発光します。


1 十字キーの左または右キー  を押してください。


キーを押すごとにモードが切り替わり、画面が次のように変わります。



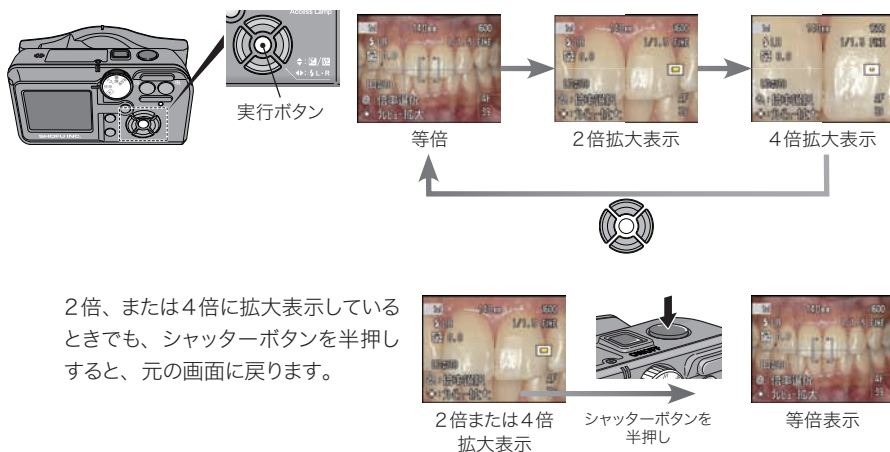
片側だけを発光させたときも、発光量は自動的に調節されますので、正しい露出で撮影できます。

プレビュー拡大

レンズを通してリアルタイムに被写体を表示している画面を、プレビュー画面と呼びます。十字キー中央の実行ボタン  を押すと、プレビュー画面の中央部を2倍、4倍に拡大して表示できます。

1 十字キー中央の実行ボタン  を押してください。

ボタンを押すごとに、プレビュー画面が次のように切り替わります。



2倍、または4倍に拡大表示しているときでも、シャッターボタンを半押しすると、元の画面に戻ります。

ワンポイント

●プレビュー拡大リセットについて


初期設定では、一度プレビュー拡大を2倍または4倍表示に設定すると、撮影倍率を設定しないかぎり※、等倍表示には戻りません。この動作を、1回撮影することにより等倍表示に戻したり、撮影倍率を変更しても等倍表示に戻らないように設定することができます。

参照 P.51「プレビュー拡大リセット」

※ 電源をOFFにしたり、モード切り替えダイヤルを回した場合は、常に等倍表示に戻ります。

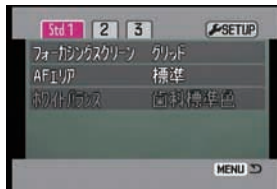
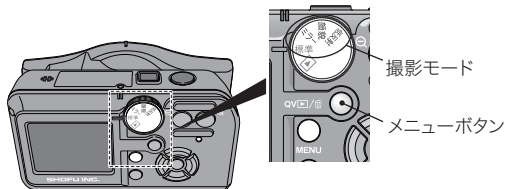
撮影モードメニューについて


モード切り替えダイヤルが撮影モード（「標準」「ミラー」「顔貌」「低反射」のいずれか）にあるときにメニューボタンを押すと、撮影モードに関連する設定を行うことができます。

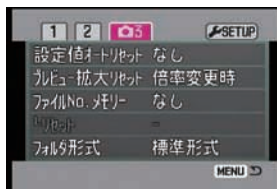
メニューボタンと十字キーを使って設定します。


設定方法

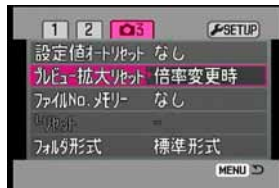
- 1 撮影モードのときに、メニューボタンを押してください。
メニュー画面が表示されます。



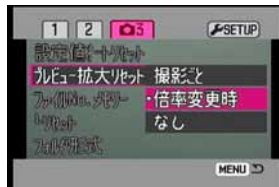
- 2 十字キーの左または右キーを押して、メニュー「1」～「3」のいずれかのタブを選んでください。




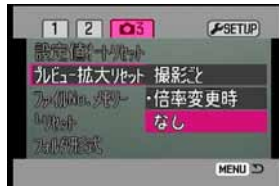
3 十字キーの上または下キー  を押して、設定したい項目を選んでください。




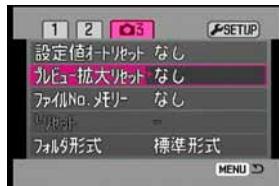
4 十字キーの右キー  を押して、設定内容を表示させてください。



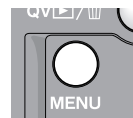
5 十字キーの上または下キー  を押して、変更したい設定を選んでください。



6 十字キー中央の実行ボタン  を押して、決定してください。



7 メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。
・シャッターボタンを半押ししても戻ります。
・設定中にメニューボタンを押すと、設定が中断され、撮影モードに戻ります。



独立メニューと共通メニューについて

撮影モードメニューには「1」～「3」のタブがあります。タブ「1」は、「標準」「ミラー」「顔貌」「低反射」のそれぞれのモード専用として設定できます。タブ「2」と「3」は、すべての撮影モード共通の設定となります。

タブ1 (モードごとに独立設定)							
項目	選択内容	初期設定				設定値オートリセット	設定値リセット
		標準	ミラー	顔貌	低反射		
フォーカシング スクリーン	なし					する	する
	グリッド	●	●	●			
	スケール				●		
AFエリア	ワイド			●		する	する
	標準	●	●		●		
	スポット						
ホワイトバランス	AUTO			●		する	する
	昼光						
	曇天	※	※		※		
	白熱灯						
	蛍光灯						

※ホワイトバランスは [齒科標準色] に固定されます。

タブ2 (各モード共通設定)				
項目	選択内容	初期設定	設定値オートリセット	設定値リセット
画像サイズ・画質	2272 x 1704 X.FIN		する	する
	2272 x 1704 FINE			
	1600 x 1200 X.FIN			
	1600 x 1200 FINE	●		
	640 x 480 FINE			
フォーカスモード	AF	●	する	する
	MF (固定焦点)			
写し込み	なし	●	しない	する
	月日時刻			
	年月日			

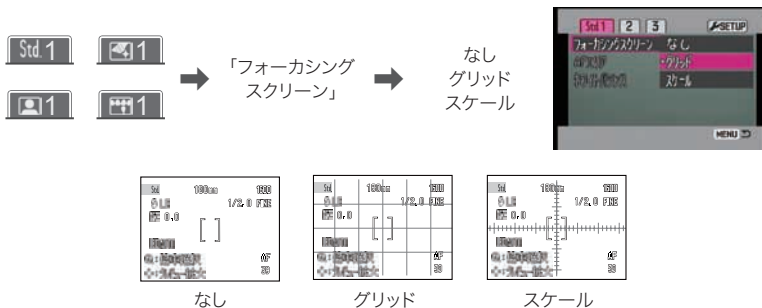
タブ2 (各モード共通設定)				
項目	選択内容	初期設定	設定値オートリセット	設定値リセット
アフタービュー	10秒		しない	する
	5秒	●		
	2秒			
	なし			

タブ3 (各モード共通設定)				
項目	選択内容	初期設定	設定値オートリセット	設定値リセット
設定値オートリセット	あり	●	-	する
	なし			
プレビュー拡大リセット	撮影ごと		しない	する
	倍率変更時	●		
	なし			
ファイルNo.メモリー	あり		しない	する
	なし	●		
リセット	実行する	-	-	-
フォルダ形式	標準形式	●	しない	する
	日付形式			

●は初期設定値です。

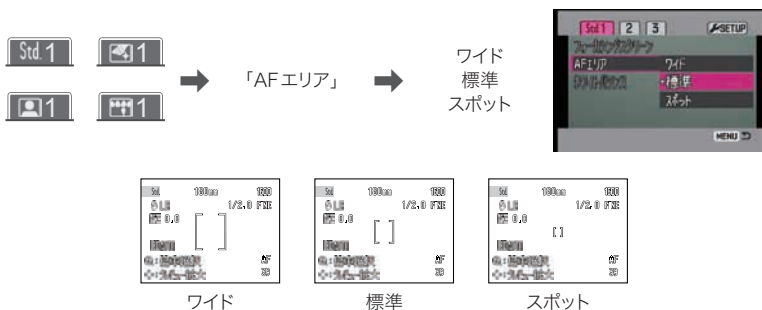
フォーカシングスクリーン

画面内に、方眼(グリッド)や目盛り線(スケール)を表示させることができます。



AFエリア

AF (オートフォーカス) でピント合わせに使用するAFエリアを、「ワイド」「標準」「スポット」の3種類から選ぶことができます。



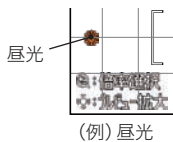
ホワイトバランス (顔貌モードのみ)

顔貌モードの場合、光源によって被写体の色が変化します。特に白いものは、光源によって青っぽくなったり、黄色っぽくなったりするため、ホワイトバランスによってこれらを調整します。

「AUTO」に設定するとホワイトバランスが自動的に調整されますが、思うような色に撮影できないときは、プリセットされた4種類の光源からモードを選ぶこともできます。



「AUTO」以外のモードに設定したときは、次のように画面に各アイコンが表示されます。



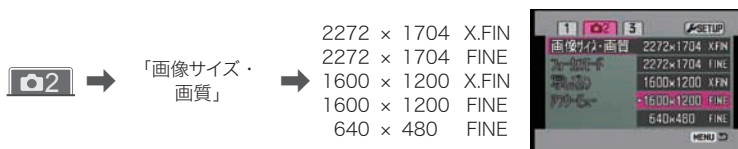
モード	アイコン	説明
AUTO	(なし)	ホワイトバランスが自動で調整されます。
昼光		晴れた明るい屋外での撮影を想定しています。
曇天		曇った屋外での撮影を想定しています。
白熱灯		白熱灯 (タングステン灯) の下での撮影を想定しています。
蛍光灯		蛍光灯の下での撮影を想定しています。

画像サイズ・画質

撮影する画像サイズや、画質を変更することができます。画像サイズは5種類、画質は2種類の中から選ぶことができます。



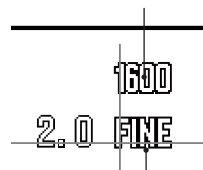
初期設定は「1600×1200 FINE」です。



選んだ画像サイズや画質は、画面の右上に表示されます。

項目	説明
2272 × 1704 X.FIN	約 390 万画素のサイズで、圧縮率極小の JPEG 形式で記録します。
2272 × 1704 FINE	約 390 万画素のサイズで、圧縮率小の JPEG 形式で記録します。
1600 × 1200 X.FIN	約 190 万画素のサイズで、圧縮率極小の JPEG 形式で記録します。
1600 × 1200 FINE	約 190 万画素のサイズで、圧縮率小の JPEG 形式で記録します。
640 × 480 FINE	約 30 万画素のサイズで、圧縮率小の JPEG 形式で記録します。

画像サイズ (横のサイズを表示)



画質 (アルファベットの短縮形で表示)



ワンポイント

● 圧縮率について

JPEG 形式の画像データは、保存するときの圧縮率によってその品質が変わります。圧縮率を大きくするほどファイルサイズは小さくなりますが、画質は劣化します。また、いったん劣化した画像の品質を元に戻すことはできません。

通常の閲覧用画像の品質は「ファイン」で十分ですが、レタッチソフトウェアなどで画像を加工する場合は、「X.FIN」(エクストラファイン)で撮影してください。

ファイルサイズと撮影画像数

ファイルサイズ(データ容量)は、撮影する画像サイズと画質によって変わります。したがって、ファイルサイズと使用するSDカードの容量によって、1枚のカードに記録できる撮影画像数は変わります。各画像サイズと画質における撮影画像枚数の目安は、次のとおりです。



ファイルサイズは被写体によって異なるため、下記の数値は目安とお考えください。

● ファイルサイズ(目安)

画質 \ ファイルサイズ	2272×1704	1600×1200	640×480
FINE (ファイン)	約 1.7MB	約 850KB	約 210KB
X.FIN (エクストラファイン)	約 2.5MB	約 1.3MB	—

● 256MB SDカード使用時の撮影可能画像数(目安)

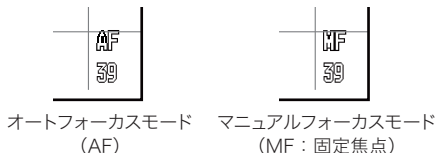
画質 \ ファイルサイズ	2272×1704	1600×1200	640×480
FINE (ファイン)	約 142枚	約 282枚	約 1,130枚
X.FIN (エクストラファイン)	約 96枚	約 188枚	—

フォーカスモード

本機では、オートフォーカスモード (AF) と、マニュアルフォーカスモード (MF：固定焦点) の2種類のモードを切り替えることができます。



選んだフォーカスモードは、画面右下に表示されます。

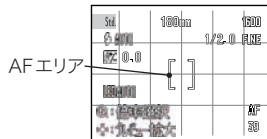


オートフォーカスモード (AF)

シャッターボタンを半押しすると、自動的にピント合わせが行われます。

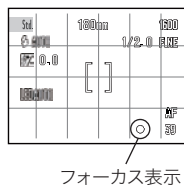
- ・ 画面に表示されたAFエリアでピント合わせが行われます。

参照 P.45「AFエリア」



- ・ シャッターボタンを半押ししてしばらくすると、ピントの状態を知らせるアイコンが表示されます。

- ピントが合っていて、固定されている
- ピントが合っていない



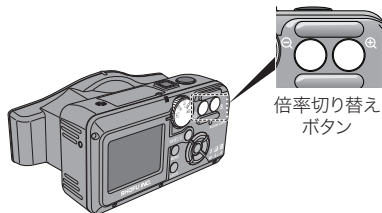
マニュアルフォーカスモード (MF：固定焦点)

オートフォーカスを使わずに、固定された位置にピントが合うようになります。

注記 一般のカメラのマニュアルフォーカスとは異なり、ピントの合う位置は変更できません。

撮影方法

1 撮りたい撮影倍率を選んでください。



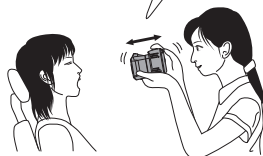
2 十字キー中央の実行ボタン  を押し、見やすい大きさを選んでください。

実行ボタンを押すごとに、プレビュー画面が「等倍」→「2倍」→「4倍」→「等倍」…と変化します。

参照 P.40「プレビュー拡大」

3 液晶画面に被写体がくっきりと見えるように、カメラを前後に移動させてください。
被写体が暗くて見えにくい場合は、LED照明を「常時点灯」に切り替えてください。

参照 P.39「LED点灯モード (標準、ミラー、低反射モードのみ)」



4 シャッターボタンを半押しして等倍表示にして、構図を調整してください。

- ・ 2倍または4倍に拡大表示しているときでも、等倍表示に戻ります。
- ・ カメラを前後に移動させないでください。被写体との距離が大きすぎると、ピントが合わなくなります。

5 シャッターボタンを押し込んで撮影してください。

写し込み

撮影時の条件や日付などを、画像の右下に入れることができます。



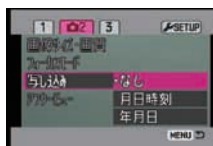
初期設定は「なし」に設定されています。



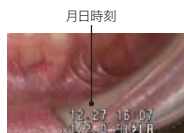
「写し込み」



なし
月日時刻
年 月 日



なし



撮影倍率
撮影モード

月日時刻



撮影倍率
撮影モード

年 月 日



写し込みを「月日時刻」または「年 月 日」に設定すると、液晶画面右下に写し込み表示位置が黄色く表示される

アフタービュー

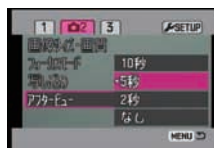
撮影直後に、撮影した画像を液晶モニターに表示させて確認することができます。撮影後、設定された秒数だけ画像が表示され、そのあと自動的に保存されます。




「アフタービュー」



10秒
5秒
2秒
なし



- ・初期設定は「5秒」です。
- ・「なし」に設定した場合でも、撮影した画像が一瞬画面に表示されます。
- ・アフタービューによる画像の表示中に、シャッターボタンを半押しするか十字キー中央の実行ボタン  を押すと、すぐにプレビュー画面に戻ります。

設定値オートリセット

カメラの電源をOFFにするか、モード切り替えダイヤルを回すことにより、撮影モードの主な設定を初期設定に戻すことができます。



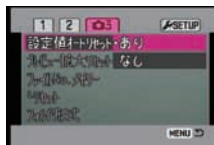
参考 初期設定は「あり」です。



「設定値オート
リセット」



あり
なし



設定値オートリセットで初期設定に戻る項目

- ・フォーカシングスクリーン
- ・AFエリア
- ・ホワイトバランス (顔貌モードのみ)
- ・画像サイズ・画質
- ・フォーカスモード
- ・フラッシュモード (顔貌モードのみ)
- ・調光補正 (標準、ミラー、低反射モードのみ)
- ・露出補正 (顔貌モードのみ)
- ・撮影データ表示

プレビュー拡大リセット

プレビュー拡大で「2倍表示」「4倍表示」を選んだときに、どのタイミングで等倍表示に戻すかを選ぶことができます。



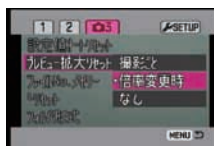
参考 初期設定は「倍率変更時」です。



「プレビュー拡大
リセット」




撮影ごと
倍率変更時
なし



撮影ごと : 1回の撮影ごとに等倍表示に戻します。

倍率変更時 : 撮影倍率を変更したときに、等倍表示に戻します。続けて同じ撮影倍率で撮影するときは、撮影後再び、選択したプレビュー拡大倍率に戻ります。

なし : 撮影後、選択したプレビュー拡大倍率に戻ります。十字キー中央の実行ボタン  を押してプレビュー拡大倍率を変更しないかぎり、等倍表示には戻りません。



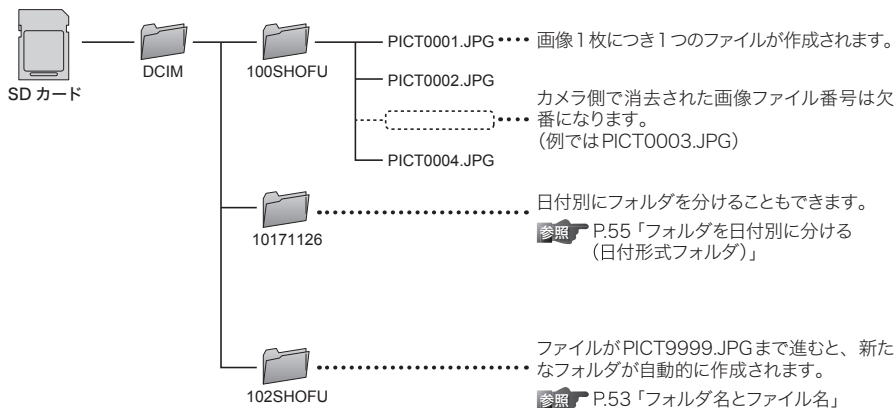
電源をOFFにするか、モード切り替えダイヤルを回したときは、どの状態でも等倍表示に戻ります。

ファイルとフォルダ

フォルダ構成

画像を撮影すると、画像1枚について1つのファイルが作成され、SDカード内のフォルダに保存されます。これらのファイルやフォルダは、SDカードをパソコンに挿入することにより確認できます。

参照 P.69「11 撮影した画像をパソコンに取り込むには」



フォルダ構成の例

フォルダ名とファイル名

フォルダ名について

標準形式の例：100 SHOFU

フォルダの通し番号(100～) 識別番号

日付形式の例：101 40820

フォルダの通し番号(100～) 年(西暦の下1桁)月日



参考

- ・フォルダ名は、標準形式の場合、“フォルダの通し番号3桁”+“識別番号5文字”
日付形式の場合、“フォルダの通し番号3桁”+“年(西暦の下1桁)月日”となります。
- ・フォルダ番号(フォルダの通し番号)は100から始まり、フォルダが作成されるたびに1つずつ増えていきます。
- ・標準形式の場合、識別文字は“SHOFU”です。
- ・標準形式フォルダの識別文字5文字、および、日付形式フォルダの年月日5文字は、SDカードをパソコンに挿入したときに確認できます。
- ・フォルダの削除は、SDカードをパソコンに挿入して行うか、カメラ側でSDカードをフォーマットしてください。

参照 P.61「SDカードのフォーマット(初期化)」

ファイル名について

例：PICT 0001 .JPG

ファイル番号(0001～) 拡張子(ファイルの種類を識別する部分)



参考

- ・PICTのあとの4桁のファイル番号(ファイルの通し番号)は、撮影するたびに1つずつ増えていきます。
- ・カメラ側で消去された画像のファイル番号は欠番となります。フォルダ内の画像をすべて消去すると、ファイル番号は再び“0001”から始まります。(初期設定のファイルNo.メモリーなしの場合)

参照 P.54「ファイルNo.メモリー」

- ・“PICT9999”まで進むと新たなフォルダが自動的に作成され、その中で再び“PICT0001”から画像に記録が開始されます。
- ・各フォルダ内では、常にファイル名は“PICT0001”から(すでにファイルが存在する場合はその次の番号から)始まります。(初期設定のファイルNo.メモリーなしの場合)

参照 P.54「ファイルNo.メモリー」

- ・お使いのパソコンの設定によっては、拡張子が表示されない場合があります。

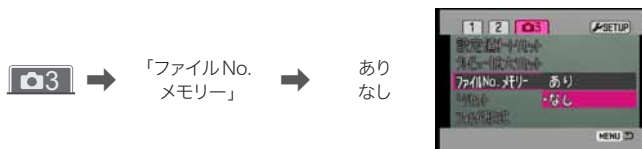


8

撮影モード

ファイルNo.メモリー

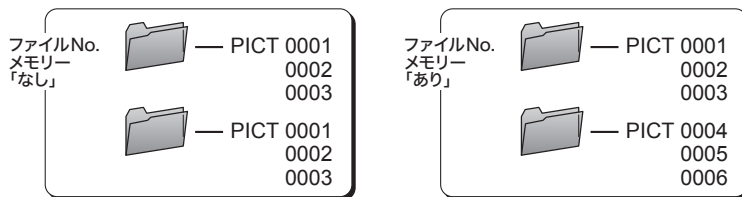
初期設定では、SDカードを交換したり、フォーマットしたり、SDカード内の画像をすべて消去したりすると、ファイル名は再び“PICT0001.JPG”から始まります。また、日付形式フォルダで日付が変わったときにも、ファイル名は再び“PICT0001.JPG”から始まります。これを続き番号にすることもできます。



なし：ファイルNo.メモリーは機能しません。SDカードを交換したり、フォーマットしたり、カード内の画像をすべて消去したり、日付形式フォルダで日付が変わってフォルダが変わったりすると、ファイル番号は0001に戻ります。同一フォルダ内にすでにファイルが存在する場合は、その続き番号から始まります。

あり：ファイルNo.メモリーが機能します。全画面の消去、SDカードの交換やフォーマットを行っても、ファイル番号はそのまま続きます。

イメージ図



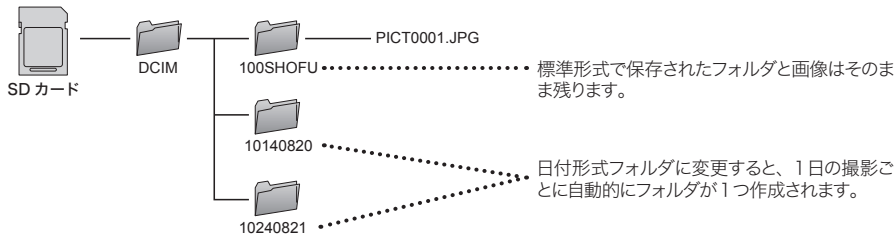
ファイルNo.メモリーのリセット

ファイルNo.メモリーを「あり」に設定しているときに、続き番号をリセットすることができます。



フォルダを日付別に分ける (日付形式フォルダ)

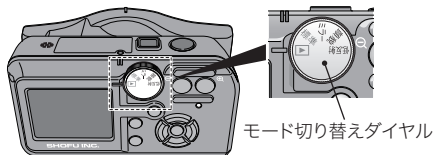
初期設定の標準形式フォルダ(「100SHOFU」など)を日付形式フォルダに変更し、日付別のフォルダに分けて保存や再生を行うことができます。



初期設定では、フォルダが変わるたびに中のファイル番号はPICT0001に戻ります。
続き番号にするにはファイルNo.メモリーを「あり」にする [参照](#) P.54「ファイルNo.メモリー」

9 再生モード

この章では、再生モードでの各種設定について説明しています。モード切り替えダイヤルは▶位置(再生モード)に合わせてください。



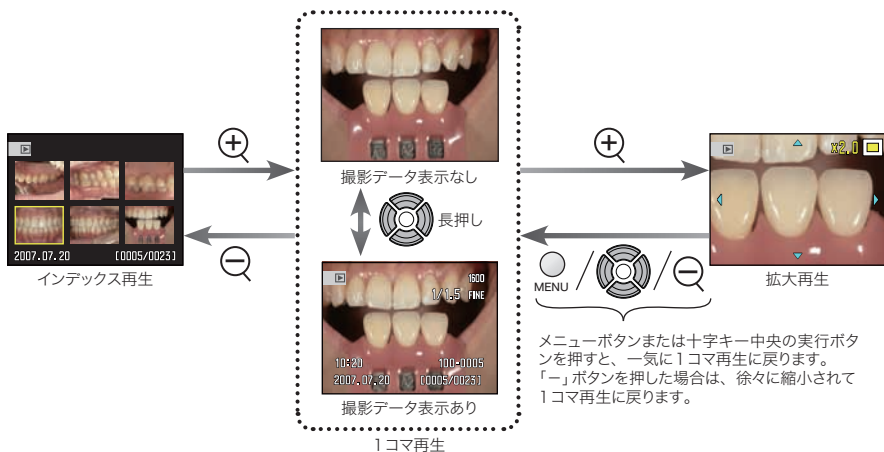
再生モード中は、液晶モニターの上に▶が表示されます。



画面表示の切り替え (▶再生モード時)

再生モードおよびクイックビュー時には、十字キー中央の実行ボタン(OK)、倍率切り替えボタンとメニューボタンにより、下図のように画面を切り替えることができます。

参照 ▶ P.8 ~ 10 「撮影時」「再生時」

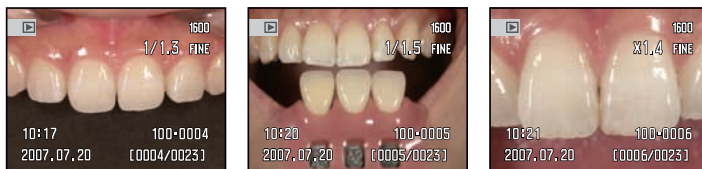


注記 クイックビュー時には、インデックス再生機能は使用できません。

1コマ再生



再生モードにすると、撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

1 十字キーの左または右キー  を押して、見たい画像を選択してください。




古い画像

新しい画像

- ・ 十字キーの左または右キー  を押し続けると、画像が早送りされます。
- ・ 最新画像の表示中に十字キーの右キー  を押すと、最も古い画像に戻ります。逆も同様です。
- ・ クイックビュー(参照 P.22)でも、再生モードと同じ操作を行うことができます。(再生モードメニューを除く)

インデックス再生

6コマ分を一度に液晶モニターに表示します。十字キーの上下左右キー  を押すと、コマを移動させることができます。見たい画像を素早く探したいときに便利です。

1 1コマ再生のときに、倍率切り替えボタンの「-」側を押してください。

- ・ インデックス再生画面が表示されます。
- ・ インデックス再生中に倍率切り替えボタンの「+」側を押すと、1コマ再生に戻ります。



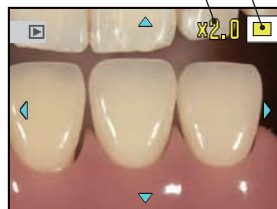
拡大再生


再生モードおよびクイックビュー中に、画像の一部を拡大する(最大6倍)ことができます。

1 再生モードまたはクイックビュー中に、倍率切り替えボタンの「+」側を押してください。


- ・ 画像が拡大されます。
- ・ 倍率切り替えボタンを押すと、拡大倍率を変更できます。
- ・ 1.1倍～6.0倍の範囲内で、倍率を選択できます。倍率切り替えボタンを押し続けると、連続して倍率が変わります。

画像全体の中で、現在表示されている部分
拡大倍率

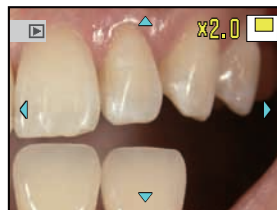


2 十字キーの上下左右キー  を押してください。

表示エリアがスクロールします。

3 メニューボタンまたは十字キー中央の実行ボタン  を押してください。

通常の1コマ再生に戻ります。



画像を素早く消去する

再生モードまたはクイックビュー中にクイックビュー/消去ボタンを押すと、画像を1コマずつ簡単に消去できます。


参照 P.23 「撮影モード中に素早く画像を確認・消去する(クイックビュー)」

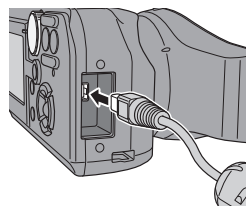
画像をテレビで見る

付属のビデオケーブルでカメラとテレビを接続して、撮影した画像をテレビに映して見ることができます。

1 テレビとカメラの電源をOFFにしてください。

2 端子カバー、またはビデオコネクタキャップを外し、ビデオケーブルのミニプラグ側を、カメラのビデオ出力端子に差し込んでください。


ミニプラグ上の  マークが、カメラの前面側(レンズ側)を向くようにして差し込んでください。



3 ビデオケーブルのもう一方の黄色のプラグを、テレビのビデオ入力端子（通常は黄色）に差し込んでください。

4 テレビの電源をONにして、テレビの[入力切り替え]などで、ビデオ入力端子からの入力に切り替えてください。


参照 詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

5 カメラのメインスイッチをONにして、モード切り替えダイヤルを再生モード  に合わせてください。

- ・ 上記の操作で、カメラの液晶モニターに表示される画像が、そのままテレビに映ります。通常の再生モードと同様に、表示の切り替えなどを行うことができます。
- ・ カメラ背面の液晶モニターは点灯しません。
- ・ テレビに映る画像はパソコンの画像と比べると、システムの違いにより画質が多少劣化します。
- ・ 上記の操作で万一画像がテレビに映らない場合は、ビデオ出力形式を確認してください。

参照 P.66「ビデオ出力形式の切り替え」

再生モードメニュー

モード切り替えダイヤルが再生モードにあるときにメニューボタンを押すと、再生モードに関連する設定を行うことができます。メニューボタンと十字キー  を使って設定します。設定方法については、撮影モードメニューの設定方法を参照してください。

参照 P.41「撮影モードメニューについて」

再生モードメニュー	
消去 参照 P.60	このコマ 全コマ コマを指定
フォーマット 参照 P.61	実行する
プロテクト 参照 P.61	このコマ 全コマ コマを指定 全コマ取り消し



画像の消去

画像の消去には、以下の3通りの方法があります。

- このコマ (1コマ消去) : 再生中の画像を1コマだけ消去します。
- 全コマ : SDカード内の画像すべてを消去します。
- コマを指定 : 指定した画像だけを消去します。

 参照 P.24 「画像を消去する」

 注記 いったん消去した画像を復活させることはできません。

1 41 ページの要領で、再生モードメニュー →  → 「消去」から、希望の消去方法を選び、十字キー中央の実行ボタン  を押してください。



・「このコマ」「全コマ」の場合


→ 3の確認画面へ

・「コマを指定」の場合


→ 2でコマを指定後、3の確認画面へ




2 「コマを指定」の場合、十字キー  で消去するコマを指定し、中央の実行ボタン  を押してください。

 左または右キーで消去する画像を選択




 上キーで画像を指定
下キーで指定を解除





 実行ボタンで消去する
画像の選択を完了



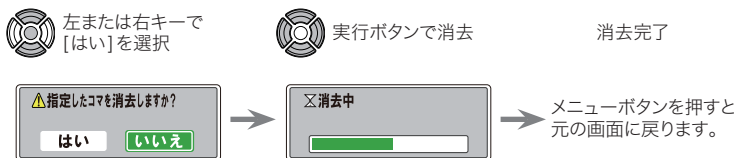
消去を指定したコマには、ごみ箱のマークが表示されます。必要なだけ上記の操作を繰り返します。

 参考 右のメッセージが表示される場合は、画像がプロテクト (誤消去防止) されています。該当する画像は消去できません。

 参照 P.61 「プロテクト (誤消去防止)」

 プロテクトされています



3 確認後、消去してください。(下図は指定コマ消去の場合)




SDカードのフォーマット(初期化)

SDカード内の画像やフォルダをすべて消去するときには、SDカードのフォーマットが便利です。

注記 フォーマットを行うと、プロテクトをかけた画像も含め、すべての画像が消去されます。

- 1 41ページの要領で、再生モードメニュー→→「フォーマット」から「実行する」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押してください。





- 2 表示された画面で「はい」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押してください。

- ・フォーマット完了後、メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。
- ・フォーマット中はアクセラランプが点灯します。点灯中はカードを抜かないでください。
- ・SDカードのフォーマットは、上記の手順でカメラ側で行なってください。パソコンでフォーマットすると、カメラがSDカードを認識しないことがあります。カメラ以外でフォーマットした場合は、撮影前にカメラで再度フォーマットしてください。

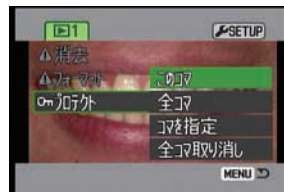
プロテクト(誤消去防止)



撮影した画像をロックし、間違っで消去しないようにすることができます。以下の4通りのプロテクト方法があります。

- このコマ(1コマプロテクト) : 再生中の画像1コマだけにプロテクトをかけます。
1コマだけプロテクトを取り消す場合にも使用します。
- 全コマ : SDカード内のすべての画像にプロテクトをかけます。
- コマを指定 : 指定した画像だけにプロテクトをかけます。
プロテクトを取り消す場合にも使用します。
- 全コマ取り消し : SDカード内のすべての画像のプロテクトを取り消します。


1 41ページの要領で、再生モードメニュー→→
「プロテクト」から希望の設定を選び、十字キー中央
の実行ボタン  を押してください。


- ・「このコマ」「全コマ」の場合
→メニューボタンで元の画面へ
 - ・「コマを指定」の場合
→2に進んでコマを指定
 - ・「全コマ取り消し」の場合
→表示された画面で「はい」を選び、実行ボタンを押してください。
- メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。




2 「コマを指定」の場合、十字キーの上下左右キー  でプロテクトするコマを選択・指定し、実行ボタン  を押してください。

指定したコマにプロテクトがかかります。

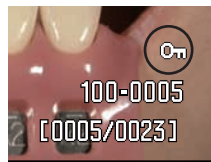
 左または右キーで、
プロテクトする画像
を選択

 上キーで画像を指定
下キーで指定を解除

 実行ボタンでプロテク
ト画像の選択を完了



再生時、プロテクトのかかった画像には、液晶モニター内にアイコンが表示されます。



10 セットアップモード





この章では、セットアップモードでの各種設定について説明しています。メニューが表示されているときに  を選択して十字キー中央の実行ボタン  を押すと、セットアップモードに入ることができます。

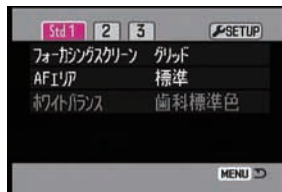


撮影モード、再生モードのどのメニューからでも設定できます。

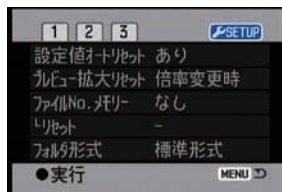
セットアップモードメニュー




セットアップモード  には、どのモードからでも入ることができ、64 ページの設定が可能です。メニューボタンと十字キー  を使って設定します。

- 1 メニューボタンを押してください。
メニュー画面が表示されます。



- 2 十字キーの左または右キー  を押し、 を選び、実行ボタン  を押してください。
セットアップメニュー画面が表示されます。



- 3 十字キーの左または右キー  を押し、
 1 ~  3 のいずれかを選んでください。



各項目の設定方法については、撮影モードメニューの設定方法を参照してください。



P.41 「撮影モードメニューについて」

10
セットアップモード

🔧 1		
項目	選択内容	初期設定
モニター明るさ 参照 P.65	実行する	±0
日時設定 参照 P.65	実行する	—
ビデオ出力 参照 P.66	NTSC	●
	PAL	





🔧 2		
項目	選択内容	初期設定
操作音 参照 P.66	あり	●
	なし	
AF 音 参照 P.66	あり	●
	なし	
シャッター音 参照 P.66	あり	●
	なし	
パワーセーブ 参照 P.66	30 分	
	10 分	
	5 分	
	3 分	●
	1 分	

🔧 3		
項目	選択内容	初期設定
設定値リセット 参照 P.67	実行する	—

●印は初期設定値です。

液晶モニターの明るさ調整

液晶モニターの明るさを、11段階で調整できます。

- 1 41～42ページの要領で、セットアップモードメニュー→1 →「モニター明るさ」から[実行する]を選び、十字キー中央の実行ボタンを押してください。
- 2 十字キーの左または右キーを押して、モニターの明るさを調整してください。
- 3 十字キー中央の実行ボタンを押して、モニターの明るさを決定してください。

日時設定

日時や年月日の並び順を設定・変更する場合は、以下の手順で行なってください。



2100年までの日付が記憶されているため、撮影のたびに数値を設定する必要はありません。








「日付/時刻を設定してください」というメッセージが現れたときは、日時の設定データが失われていますので、以下の手順で再設定してください。[はい]を選んで十字キー中央の実行ボタンを押すと、日時設定画面が表示されます。

日付/時刻を設定してください

はい

いいえ

- 1 41～42ページの要領で、セットアップモードメニュー→1 →「日時設定」から「実行する」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押してください。
日時設定画面が表示されます。
 - 2 十字キーの右または左キーで、修正したい項目を選んでください。
 - 3 十字キーの上または下キーで、希望の値を選んでください。
- 参考** 押し続けると、値が早送りされます。
- 4 必要なだけ手順2、3の操作を繰り返してください。
 - 5 修正が完了したら、十字キー中央の実行ボタンを押してください。
時計がスタートします。



途中でメニューボタンを押すと、日時の設定を行わずに元の画面に戻ります。





10

セットアップモード



ビデオ出力形式の切り替え

ビデオの信号形式にはいくつかの方式があり、国や地域によって異なります。日本やアメリカ、韓国などではNTSC方式、ヨーロッパの多くの国々（フランスを除く）やオーストラリア、中国などではPAL方式が採用されており、両者の間には互換性がありません。このカメラの画像を日本国外のテレビで見る場合は、その国に合った信号形式に設定してください。このカメラでは、NTSC方式とPAL方式の2つの設定が可能です。

- 1 41～42ページの要領で、セットアップモードメニュー→  1 →「ビデオ出力」から希望の設定を選び、十字キー中央の実行ボタン  を押してください。

操作音の設定

カメラを操作したときの操作音を変更できます。

- 1 41～42ページの要領で、セットアップモードメニュー→  2 →から「操作音」「AF音」「シャッター音」のいずれかの項目と設定を選び、十字キー中央の実行ボタン  を押してください。



操作音	ボタンを押す、ダイヤルを回すなど、カメラの操作時に出る音	あり
		なし

AF音	AF（オートフォーカス）でピントが合ったときに出るピント確認音	あり
		なし

シャッター音	シャッターを切ったときに出る音	あり
		なし



パワーセーブまでの時間変更

このカメラは、初期設定では約3分以上何も操作をしなかった場合、電源がOFFになります。このパワーセーブまでの時間を、1分、3分、5分、10分、30分のいずれかに変更することができます。

- 1 41～42ページの要領で、セットアップモードメニュー→  3 →「パワーセーブ」から変更したい設定を選び、十字キー中央の実行ボタン  を押してください。

設定値リセット

カメラのほとんどの設定を、お買い上げ時の初期設定に戻すことができます。

1 41～42ページの要領で、セットアップモードメニュー→3→「設定値リセット」から「実行する」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押してください。

表示された画面で「はい」を選び、実行ボタンで実行してください。

リセットされる内容は以下のとおりです。

撮影モードメニュー

項目	設定
フォーカシングスクリーン	標準モード : グリッド ミラーモード : グリッド 顔貌モード : グリッド 低反射モード : スケール
AFエリア	標準モード : 標準 ミラーモード : 標準 顔貌モード : ワイド 低反射モード : 標準
ホワイトバランス	標準、ミラー、低反射モード : (変更できません) 顔貌モード : AUTO
画像サイズ・画質	1600x1200 FINE
フォーカスモード	AF
写し込み	なし
アフタービュー	5 秒
設定値オートリセット	あり
プレビュー拡大リセット	倍率変更時
ファイルNo.メモリー	なし
フォルダ形式	標準形式



10

セットアップモード

セットアップモードメニュー

項目	設定
モニター明るさ	±0
ビデオ出力	NTSC
操作音	あり
AF音	あり
シャッター音	あり
パワーセーブ	3分

その他ボタンなどで設定するもの

項目	設定
フラッシュモード	標準、ミラー、低反射モード：(設定なし) 顔貌モード：AUTO
調光補正	標準、低反射モード：±0 低反射モード：+0.7 顔貌モード：(設定なし)
露出補正	標準、ミラー、低反射モード：(設定なし) 顔貌モード：±0
撮影データ表示	On

11 撮影した画像をパソコンに取り込むには

この章では、基本的な操作方法だけを説明しています。パーソナルコンピュータ（以降：パソコン）の詳しい操作方法については、パソコン付属の説明書、または他の専門書をご参照ください。

SDカードリーダーの動作環境

次の動作環境を備えたパソコンをお使いの場合、SDカードを付属のSDカードリーダーに挿入し、パソコンのUSBポートに接続することにより、画像をパソコンに取り込むことができます。

パソコン	IBM PC/AT 互換機	Apple Macintosh シリーズ
OS	Windows Vista Windows XP Windows Me Windows 2000 Professional Windows 98/98 Second Edition	Mac OS 9.1 ~ Mac OS X
その他	USBポート標準装備	USBポート標準装備



注記

- ・お使いのOS環境において、USBポートがパソコンメーカーによって動作保証されていることが必要です。詳しくはパソコンメーカーにお問い合わせください。
- ・同時に使用するUSB機器によっては、正常に動作しない場合があります。
- ・USBポートは、パソコンに標準装備されているポートだけがサポート対象となります。USBハブ経由で接続した場合、正常に動作しないことがあります。
- ・上記の環境でも、アップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- ・上記の環境のすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- ・お使いのパソコンにより、画像を表示させる方法が異なります。

Windows Vista、XP、Me、2000、Macintoshの場合

SDカードリーダーを、そのままパソコンのUSBポートに接続してお使いいただけます。

参照 P.70 「パソコンと接続する」

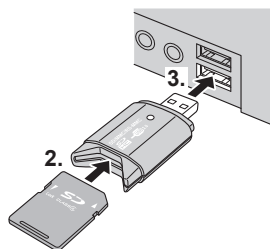
Windows 98または98 Second Editionの場合

松風ホームページからSDカードリーダーのドライバーをダウンロードして、お使いのパソコンにインストールしてください。

参照 P.77 「USBドライバーのインストール (Windows 98または98 Second Edition)」

パソコンと接続する

- 1 パソコンの電源をONにしてください。
- 2 SDカードリーダーに、SDカードを挿入してください。
- 3 パソコン本体のUSBポートに差し込んでください。
USBポートへの接続は、差し込むときはパソコンの電源をONにしたまま行うことができますが、取り外すときは **参照** P.75「接続を解除する」の手順に従ってください。



注記 Windows 98または98 Second Editionの場合、接続後[新しいハードウェアの追加ウィザード]の画面で動作が停止したときは、ドライバーが正しくインストールされていない可能性があります。

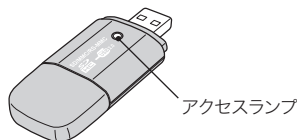
参照 P.81「ワンポイント」

ワンポイント

●SDカードリーダーのアクセスランプについて

- ・点灯中：パソコンに正常に認識されています。
- ・点滅中：データの通信中です。

注記 アクセスランプの点滅中は、SDカードリーダーをパソコンから取り外さないでください。



パソコンに画像ファイルをコピー・保存する

ここでは、画像ファイルを、パソコンにコピーして保存する方法について説明しています。

- 注記**
- ・SDカードリーダーとパソコンを接続しているとき、特にデータの通信中(アクセスランプ点滅中)には、SDカードリーダーをUSBポートから取り外さないでください。パソコンのエラーやSDカード内の画像データ破損の原因となります。
 - ・SDカードのフォーマットは、カメラ側で行なっていただくことをおすすめします。

参照 P.61「SDカードのフォーマット(初期化)」

パソコンでSDカードのフォーマットを行うと、SDカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

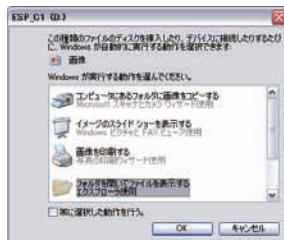
- ・パソコンでSDカード内の画像データのファイル名を変更したり、カメラによる画像データ以外のデータを書き込んだりしないでください。カメラで再生できないだけでなく、カメラの機能に支障を来すことがあります。

Windows XP、Vistaの場合

SDカードがパソコンに認識されると、以下の画面が表示されます。(XPの場合の画面で説明しています)

1 [フォルダを開いてファイルを表示する] (Vistaの場合は[フォルダを開いてファイルを表示]) を選び、[OK]をクリックしてください。

- ・ [コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする] (Vistaの場合は[画像の取り込み]) でも操作できます。その場合は、メッセージに従って操作を進めてください。詳しくは各パソコンメーカーにお問い合わせください。
- ・ パソコンの設定によっては、この画面が表示されない場合があります。そのときは、[マイ コンピュータ] → [ESP_C1] または [リムーバブルディスク] を開いてください。[ESP_C1] または [リムーバブルディスク] が見つからない場合は、パソコンを再起動してください。



2 [DCIM] フォルダをダブルクリックして開いてください。ドライブ名 (右図の例では D:) は、ご使用のパソコンによって異なります。



3 [100SHOFU] などのフォルダをダブルクリックして開いてください。

- ・ フォルダ名の初期設定は [100SHOFU] です。カメラの設定を変更すると、名前が変わったり複数表示されたりすることがあります。

参照 フォルダの詳細は → P.52 ~ 54 「ファイルとフォルダ」
フォルダを開くと、[PICT0001] などの画像ファイルが表示されます。

- ・ お使いのパソコンの設定により、[PICT0001] [PICT0001.JPG] など、拡張子 (この場合は“.JPG”) が付く場合と付かない場合があります。



4 保存したいフォルダまたはファイルを、パソコンにコピーしてください。

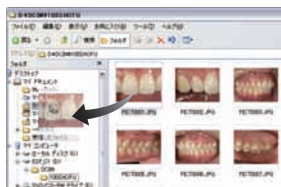
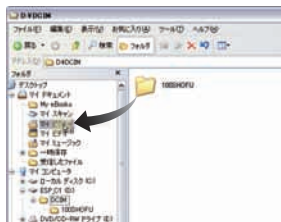
フォルダごとコピーする場合は、[100SHOFU]などのフォルダごと[マイ ドキュメント]や[マイ ピクチャ]などにコピーします。

参照 コピーの方法(ドラッグ&ドロップ)について→P.74「ワンポイント」



参考

- ・画像の見え方は、お使いのパソコンの設定によって異なります。
- ・コピー先のフォルダに同じ名前のファイルが存在すると、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きしない場合は、あらかじめコピー先のファイル名を変更しておくか、別のフォルダにコピーしてください。



ワンポイント

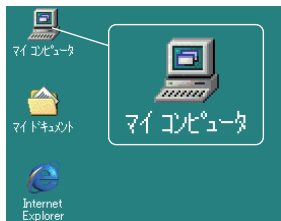
● Windows XP、VistaでのSDカードのボリュームラベル表示について

SDカードを識別するために、それぞれに名前(ボリュームラベル)を付けることができます。通常、お買い上げ直後のSDカードは、ボリュームラベルが付けられていません(空白)。ボリュームラベルが付けられていないSDカードをパソコンに接続すると、「リムーバブルディスク」と表示されますが、アイスベシヤル C-IでSDカードをフォーマットすると、ボリュームラベルとして「ESP_C1」が設定され、パソコンでも「ESP_C1」と表示されます。

Windows 2000、Me、98、98 Second Editionの場合

1 デスクトップ上の[マイ コンピュータ]をダブルクリックして開いてください。

カメラ内のSDカードが[リムーバブル ディスク]として表示されます(ドライブ名は、ご使用のパソコンによって異なります)。表示されない場合は、パソコンを再起動させてください。



2 [リムーバブル ディスク]をダブルクリックして開いてください。
[DCIM]フォルダが表示されます。

3 [DCIM]フォルダをダブルクリックして開いてください。

4 [100SHOFU]などのフォルダを、ダブルクリックして開いてください。

- ・フォルダ名の初期設定は[100SHOFU]です。カメラの設定を変更すると、名前が変わったり複数表示されたりすることがあります。

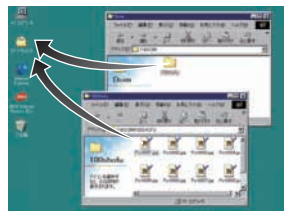
 参考 P.52 ~ 54「ファイルとフォルダ」

フォルダを開くと、[PICT0001]などの画像ファイルが表示されます。

- ・お使いのパソコンの設定により、[PICT0001] [PICT0001.JPG]など、拡張子(この場合は“.JPG”)が付く場合と付かない場合があります。

5 保存したいフォルダまたはファイルを、パソコンにコピーしてください。

- ・同じ名前のファイルをパソコン上の同じフォルダにコピーすると、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きしない場合は、あらかじめパソコン上のファイル名を変更しておくか、別のフォルダにコピーしてください。
- ・[マイ ドキュメント]以外に保存する場合は、あらかじめ保存先のフォルダを表示させておいてください。



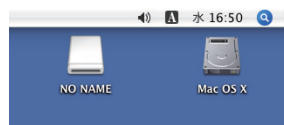
Macintoshの場合

SDカード内のフォルダを直接開く場合

Macintoshでは、SDカードがデスクトップ上に「ESP_C1」「NO_NAME」「名称未設定」などの名前で表示されます。(それ以外の名前になることもあります)



表示されない場合は、パソコンを再起動してください。



1 デスクトップ上のカードアイコンをダブルクリックして開いてください。

2 P.71 ~ P.72の手順2 ~ 4に従って、SDカード内のフォルダまたはファイルをパソコンにコピーしてください。

[マイドキュメント]の代わりに、任意の保存先フォルダを選んでコピーしてください。



- ・ Mac OS Xでは、OSに付属の「イメージキャプチャアプリケーション」を使って、SDカード内の画像ファイルを簡単にパソコンにコピー・保存できます。詳しくは、OSのヘルプ画面などをご参照ください。
- ・ 同様にOS付属のiPhotoを使うと、画像ファイルの管理が簡単に行えます。詳しくは、iPhotoのヘルプ画面などをご参照ください。



イメージキャプチャを利用する場合
(Mac OS Xのみ)

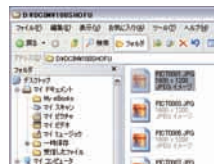


ワンポイント

●パソコンでのコピー方法(ドラッグ&ドロップ)

パソコンでコピーを行うには、マウスによるドラッグ&ドロップが便利です。

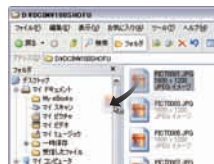
1 マウスをアイコンに合わせ、左ボタンを押してください。



2 マウスのボタンを押したまま、マウスを移動させてください。



この操作を「ドラッグ」といいます。



3 コピー先(の名前)が反転したら、左ボタンを離してください。



この操作を「ドロップ」といいます。



接続を解除する

必要な画像をパソコンにコピーしたあとは、速やかに以下の操作に従ってUSB接続を解除してください。

Windows Vista、XP、Me、2000の場合

お使いのWindowsのバージョンによって表示や文言が異なりますが、基本操作は同じです。

- 1 SDカードリーダーのアクセスランプが点滅していないことを確認してください。
- 2 タスクバー（パソコンの画面右下）に表示されている[ハードウェアの安全な取り外し]または[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]のアイコンを左クリックしてください。
- 3 [USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します（または停止します）]または[USBディスクの停止]を左クリックしてください。
- 4 安全に取り外しできるというメッセージが表示されたら、[OK]または[]をクリックしてください。
- 5 SDカードリーダーを、USBポートから取り外してください。
- 6 SDカードを、SDカードリーダーから取り外してください。



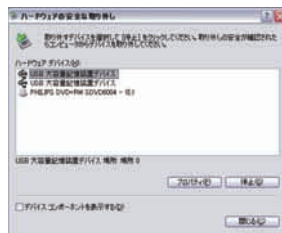


ワンポイント

●複数のUSB機器を接続している場合

前ページの手順2でアイコンを左クリックする代わりに、ダブルクリックまたは右クリックする方法が便利です。以下の手順で取り外してください。

- 1 [ハードウェアの安全な取り外し] (右図) が表示されたら、USBを選択して[停止]をクリックしてください。
- 2 [ハードウェア デバイスの停止]が表示されたら、カメラを選択して[OK]をクリックしてください。
- 3 安全に取り外しできるというメッセージが表示されたら、[OK]または をクリックしてください。
- 4 USBケーブルを取り外してください。



注記 SDカードリーダーをパソコンに接続したまま、SDカードを取り外さないでください。

Windows 98または98 Second Editionの場合

- 1 SDカードリーダーのアクセスランプが点滅していないことを確認してください。
- 2 SDカードリーダーを取り外してください。

Macintoshの場合

- 1 SDカードリーダーのアクセスランプが点滅していないことを確認してください。
- 2 SDカードのアイコンを「ごみ箱」に移してください。
- 3 SDカードリーダーを取り外してください。

パソコンで画像ファイルを開く

- 1 画像を保存したフォルダ（[マイドキュメント]など）をダブルクリックして開いてください。
- 2 見たい画像をダブルクリックしてください。
各ファイルに関連付けされたソフトウェアが自動的に起動します。起動しない場合や意図しないソフトウェアが起動した場合は、先にソフトウェアを起動させ、そのあと [ファイル] → [開く] → 見たい画像を選んでください。



必要なソフトウェア

JPEG ファイル

本機で撮影された画像には、ファイル名の最後に「.JPG」が付きます。一般的な画像表示ソフトウェアで開くことができます。

USBドライバーのインストール (Windows 98または98 Second Edition)

Windows 98または98 Second Edition をお使いの場合、松風ホームページからSDカードリーダーのドライバーをダウンロードして、お使いのパソコンにインストールしてください。

ドライバーのダウンロード

- 1 松風ホームページにアクセスしてください。
URLは、「<http://www.shofu.co.jp>」です。



- 2 トップページから「製品情報」→「診療用器具・機械」
→「アイススペシャルC-1」のページにアクセスしてくだ
さい。



- 3 ページ内にある[ダウンロード]をクリックしてください。

- 4 ホームページに記載された内容に従って、ドライバーをダウンロードしてください。

ドライバーファイルの解凍

ダウンロードしたファイルから、圧縮されたファイルをフロッピーディスクに解凍して、ドライバー用のディスクを作成します。

(ここでは、Aドライブに解凍することを前提として記載しています)

- 1 ダウンロードした圧縮ファイルをダブルクリックしてく
ださい。



- 2 Aドライブにフロッピーディスクを挿入してください。

- 3 右のようなウィンドウが表示されたら、[参照]をクリッ
クしてください。



- 4 右のようなウィンドウが表示されたら、(A:)を選び、
[OK]をクリックしてください。



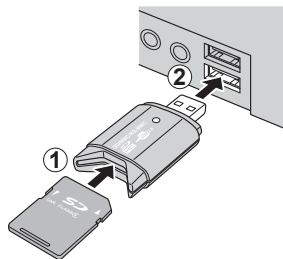
- 5 右のウィンドウに戻ったら、[OK]をクリックしてください。
- 6 しばらくすると、フロッピーディスクに [Win98 Driver] というフォルダが作成され、ドライバーファイルが解凍されます。
- 7 作成したフロッピーディスクに「SDカードリーダー用ドライバー」などを記載したラベルを張り、大切に保存してください。



ドライバーのインストールの方法

以下の作業は、初めてSDカードリーダーをパソコンに差し込んだときだけ行う必要があります。

- 1 SDカードをSDカードリーダーに挿入し、SDカードリーダーをパソコン本体のUSBポートに差し込んでください。



- 2 右のメッセージが表示されたら、[次へ>]をクリックしてください。



- 3 右のメッセージが表示されたら、「使用中の…」を選び、[次へ]をクリックしてください。



- 4 右のメッセージが表示されたら「検索場所の指定」にチェックマークを入れ、[参照]をクリックしてください。



- 5 検索場所を、(A:) – [Win98 Driver]の順に指定し、[OK]をクリックしてください。



- 6 [次へ>]をクリックしてください。



- 7 表示されるメッセージに従って、[次へ>]をクリックしてください。



- 8 右のメッセージが表示されたら、[完了]をクリックしてください。



- 9 右のようなメッセージがしばらく表示され、インストールが完了します。



ワンポイント

- ドライバーのインストールを行なったパソコンで、再び下のウィンドウが表示されたときは？

- 1 メッセージに従って、[次へ>]をクリックしてください。



- 2 右のウィンドウが表示されたら、すべてのチェックを外し、[次へ>]をクリックしてください。



- 3 メッセージに従ってもう一度ドライバーをインストールしてください。
2回目以降のインストール時には、先に作成したフロッピーディスクは不要です。

12 付録

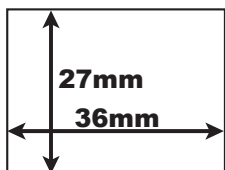


倍率表示について

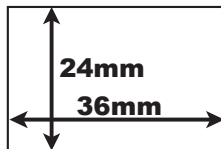
倍率の定義について

本機の画像サイズの標準設定は横縦比4：3です。したがって、同じ倍率で撮影しても、横縦比が3：2のフィルムカメラやデジタル一眼レフカメラとは撮影範囲が異なります。

本機では、フィルムカメラの横方向のサイズを基準として、36mm が画面いっぱいに入った状態を1倍と定義しており、72mm がに入った状態を1/2倍、108mm がに入った状態を1/3倍・・・としています。



[本機の1倍]



[従来のフィルムカメラの1倍]

各モードの撮影可能範囲と表示について

本機で撮影可能なワーキングディスタンスの範囲と、表示される倍率の範囲は次のとおりです。

モード	画面表示	ワーキングディスタンスの範囲 (mm)	表示される倍率の範囲
標準モード	1.0	65 ~ 145	1.1 ~ 1/1.2
	1/1.3	110 ~ 170	1/1.2 ~ 1/1.4
	1/1.5	100 ~ 165	1/1.3 ~ 1/1.6
	1/2	115 ~ 225	1/1.6 ~ 1/2.3
	1/2.5	125 ~ 235	1/2.0 ~ 1/2.9
	1/3	205 ~ 315	1/2.4 ~ 1/3.3
	1/4	275 ~ 385	1/3.5 ~ 1/4.5
ミラーモード	1.0	110 ~ 175	1.1 ~ 1/1.1
	1/1.3	110 ~ 170	1/1.2 ~ 1/1.4
	1/1.5	100 ~ 165	1/1.3 ~ 1/1.6
	1/2	115 ~ 225	1/1.6 ~ 1/2.3
	1/2.5	125 ~ 235	1/2.0 ~ 1/2.9
	1/3	205 ~ 315	1/2.4 ~ 1/3.3
	1/4	275 ~ 385	1/3.5 ~ 1/4.5
顔貌モード	1/10	750 ~ 1,100	1/9 ~ 1/13
	1/12	750 ~ 1,100	1/11 ~ 1/15
低反射モード	1.4	65 ~ 115	1.6 ~ 1.3
	1.2	65 ~ 115	1.4 ~ 1.1
	1.0	65 ~ 115	1.1 ~ 1/1.1
	1/1.3	65 ~ 115	1/1.2 ~ 1/1.5
	1/1.5	65 ~ 115	1/1.3 ~ 1/1.7
	1/1.8	65 ~ 115	1/1.6 ~ 1/2.1
	1/2	65 ~ 115	1/1.7 ~ 1/2.2

13 取り扱い上の注意



使用温度について

- このカメラの使用温度範囲は0°C～40°Cです。
- 直射日光下の車内など極度の高温下や、湿度の高い場所に放置しないでください。
- カメラに急激な温度変化を与えると、カメラ内部に水滴を生じる危険性があります。寒い屋外から暖かい室内に持ち込む場合は、寒い屋外でカメラをビニール袋などに入れ、袋の中の空気を絞って密閉します。そのあと室内に持ち込み、周囲の温度に十分になじませてからカメラを取り出してください。

電池について

- 電池の性能は低温になるほど低下します。低温下では、新品電池を使う、予備の電池を保温しておいて交互に使う、などに留意してご使用ください。
- いったん容量切れになった電池は必ず交換してください。容量切れの後、しばらく待って少し容量が回復した状態で再びカメラの電源をONにすると、カメラが正常に作動しないことがあります。
- 電池は、ご使用の直前か前日ぐらいに充電することをおすすめします。充電した状態で長時間放置すると、自然に放電し、使用できる時間が短くなります。
- 電池の状態によっては、充電器に取り付けた後、充電開始までに数秒かかることがあります。
- 電池は、ほぼ使い切った状態で保管することをおすすめします。フル充電状態での保管は、電池の寿命を縮めたり、劣化の原因となりますので避けてください。
- 長時間使用しないときは、少なくとも半年に1回、5分程度の充電を行い、カメラでほぼ使い切った状態にしてから再び保管してください。自然放電により完全に放電してしまうと、充電しても使えなくなることがあります。
- 充電しても著しく撮影可能枚数が少ない場合は、電池の寿命です。新しい電池をご購入ください。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電を中止してください。
- 電池の模造品にご注意ください。模造品には危険防止用の安全機構が備わっていない場合があります。大変危険です。松風純正の充電式リチウムイオン電池(SL-800)をお使いください。

12

13

付録／
取り扱い上の注意

SDカードなどの記録メディアについて

- 下記の場合、記録されたデータが消去（破壊）されることがあります。データの消去について当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。大切なデータは、別のメディア（ハードディスクなど）にバックアップを取っておくことをおすすめします。
 1. お客さままたは第三者がメディアの使い方を誤ったとき
 2. メディアが静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 3. メディアへのアクセス中（記録中、フォーマット中など）に、カードを取り出したり、機器の電源をOFFにしたとき
 4. メディアの耐用回数を超えて書き替えを行なったとき
- メディアをフォーマット（初期化）すると、記録されているデータはすべて消去されます。必要なデータは必ずバックアップを取ってください。
- メディアには寿命があります。長時間ご使用になるとデータの記録や再生ができなくなる場合があります。このときは新しいメディアをお買い求めください。
- 強い静電気や電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 曲げたり落としたり、強い衝撃や高熱を与えないでください。
- 強い静電気や強い衝撃によって記録メディアが破壊され、データの記録や再生ができなくなる場合があります。このときは新しいメディアをお買い求めください。
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けて使用および保管してください。

液晶画面について

- 液晶モニターは精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の白や黒、赤などの点が現れることがあります。これは故障や異常ではありませんのでご了承ください。なお、記録されている画像には影響ありません。
- 液晶モニターを強く押さえしないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒い所で使うと、初めは画面が通常より少し暗くなります。カメラ本体内部の温度が上がってくると、通常の明るさに戻ります。
- 液晶モニターに指紋などが付着して汚れたときは、乾いた柔らかい布で、傷などが付かないように軽くふいてください。

画像の変化について

- 通常の使用において、機械の劣化によって画像が変化することはほとんどありません。しかし、太陽光を直接撮影するなど、強烈な光がCCDに入射した場合や、極端に撮影枚数が多い場合などには、画像に何らかの不具合が生じることがあります。そのような場合には、お買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。

その他

- カメラに強い衝撃を与えないでください。
- バッグなどに入れて持ち運ぶときは、カメラの電源をOFFにしてください。
- このカメラは防水設計にはなっていません。濡れた手で電池やSDカードの出し入れや、カメラの操作を行わないでください。
- 太陽を直接撮影したり、直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- お客さまがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合があります。なお、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する場合以外はご利用いただけません。

14 お手入れと保管のしかた



お手入れのしかた

- カメラの外側を清掃するときは、柔らかくきれいな乾いた布で軽くふいてください。砂が付着したときはこすらずに、ブロアーで軽く吹き飛ばしてください。
- レンズ面を清掃するときは、ブロアーブラシでほこりなどを取り除いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、レンズの中央から円を描くように軽くふいてください。レンズクリーナーを直接レンズ面にかけることはお避けください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含むクリーナーは、絶対に使用しないでください。
- レンズ面に直接指で触れないでください。

保管のしかた

- 涼しく、乾燥していて、風通しのよい、ほこりや化学薬品のない場所に保管してください。長期間の保存には、密閉した容器に乾燥剤と一緒に入れると、より安全です。
- 長期間使用しないときは、カメラから電池やSDカードを取り出してください。
- 防虫剤の入ったタンスなどに保管しないでください。
- 保管中もときどきカメラを作動させてください。また、ご使用前には整備点検を行なっていただくことをおすすめします。

大切な撮影のときは

- 前もって作動の確認、またはテスト撮影を行ってからご使用ください。また予備の電池を携帯することをおすすめします。
- 万一、このカメラの使用中に撮影できなかったり、不具合が生じた場合でも、補償についてはご容赦ください。

15 トラブルシューティング



撮影中／撮影後

症状	原因	対策	参照
撮影できない、または再生できない。	電池が消耗している。	充電した電池を使用してください。	本書 P.14
	パワーセーブが作動した。	(初期設定では)約3分以上何も操作しなかった場合、カメラの電源が自動的にOFFになります。再度、カメラの電源をONにしてください。	本書 P.66
シャッターを半押ししてもピントが合わない。	フォーカスモードが「MF (固定焦点)」(マニュアルフォーカス)になっている。	フォーカスモードを「AF」に切り替えてください。	本書 P.48
	ワーキングディスタンスが撮影可能範囲よりも近すぎる／遠すぎる。	撮影可能範囲内で撮影してください。	本書 P.82
カードを挿入したのに、「カードが入っていません」と表示される。	間違ってSDHCカードを挿入した。	このカメラではSDHCカードは使用できません。SDカードに交換してください。	本書 P.15
撮影した画像が明る過ぎる／暗過ぎる。	撮影モードのときに誤って十字キーの上下を触ってしまい、調光補正の設定が変化した。	<ul style="list-style-type: none"> オートリセット「あり」の場合 モード切り替えダイヤルを別の位置に回してから元に戻すと、変更された設定がリセットされます。 オートリセット「なし」の場合 十字キーの上下を押して、調光補正を元の設定に戻してください。 	本書 P.38
	シャッターを半押ししてピントを合わせてから、カメラが前後してしまい、その状態で撮影した。	シャッターを半押ししてピントを合わせてから、カメラを前後させないでください。カメラが動いてピントがずれた場合、いったんシャッターから指を離して、再度ピントを合わせてください。	本書 P.29
フラッシュの発光がおかしい。(片側だけが発光する)	誤って十字キーの左右を触ってしまい、発光部の選択が[L側発光]または[R側発光]になってしまった。	十字キーの左右を何回か押して、[LR発光]を選択してください。	本書 P.40
画像がぼけてしまった。	シャッターを半押ししてピントを合わせてから、カメラが前後してしまい、その状態で撮影した。	シャッターを半押ししてピントを合わせてから、カメラを前後させないでください。カメラが動いてピントがずれた場合、いったんシャッターから指を離して、再度ピントを合わせてください。	本書 P.29
撮影した画像の色がおかしい。(パソコンでの再生時、プリンターでの印刷時)	モニターの設定が最適でない。このカメラで撮影した画像は、sRGBの環境で見たときに最適に再現されるよう設計されています。 sRGBで規定されている色温度は約6,500K、ガンマ値は「2.2」です。	<ul style="list-style-type: none"> 色温度の設定 モニターの色温度を6,500Kに設定してください。設定方法はモニターの使用説明書をご参照ください。 ガンマ値の設定 Macintoshの場合は、「モニター調整アシスタント」で「2.2」に設定してください。設定方法はMac OSの仕様説明書をご参照ください。Windowsでは標準が「2.2」のため、変更する必要はありません。 その他、詳しくはカラーマッピングに関する専門書をご参照ください。	—

症状	原因	対策	参照
カメラが正常に動作しない。	カメラの電源をOFFにしてから、いったん電池を取り出し、再度電源をONにしてください。それでも正常に動作しない場合はカメラの故障の可能性がありますので、お買い求めの販売店にご相談ください。		—

メッセージ表示

メッセージ	原因	対策	参照
カードが入っていません	SDカードが挿入されていない。	SDカードを挿入してください。	本書 P.15
カードがロックされています	SDカードが書き込み禁止になっている。	SDカードのライトプロテクトスイッチを、上にスライドさせてください。	本書 P.15
カードは使えません	以下の要因が考えられます。カメラの液晶モニターに表示される指示に従って、SDカードのフォーマットを行なってください。（フォーマットを行うとSDカード内のデータはすべて消去されますので、必要なファイルはあらかじめパソコンにコピーしておいてください） ・ パソコンでフォーマットを行い、ファイルシステムが変更された ・ 他のSDカード機器でフォーマットを行なった また、SDカード自体の不具合の可能性もありますので、他のSDカードをお持ちの場合は、カードを変えてお試しください。		本書 P.61
日付・時刻を設定してください	長時間電池を取り外したままにしておいたため、日時の設定データが消失した。	再度、日時を設定してください。	本書 P.65
画像がありません	画像が記録されていないSDカードを挿入し、再生モードにした。	画像が記録されているSDカードを挿入するか、あらかじめ撮影を行なってください。	本書 P.16
プロテクトされています	プロテクト（誤消去防止）のかかった画像を消去しようとしている。	あらかじめプロテクトを解除してから、画像を消去してください。	本書 P.61
カードに空きがありません	SDカードの容量がいっぱいになっている。	画像サイズ、または画質を変更してください。	本書 P.46
		不要な画像を消去してください。	本書 P.60
		空き容量のあるSDカードに交換してください。	本書 P.15
コマ指定がありません	消去で「コマを指定」を選択したが、コマを指定しなかった。	「コマを指定」を選択した場合は、十字キーの上下を押して、対象となるコマを選択してください。	本書 P.60

16 Q&A (よくあるご質問)



Q (ご質問)	A (回答)
専用リチウムイオン電池はどれくらい使用できますか？	約250コマの撮影が可能です。(当社試験条件による) 【試験条件】 画像サイズ : 1,600×1,200 画質 : ファイン 撮影モード : 標準 アフタービュー : 5秒 フラッシュ発光位置 : 両側 LED点灯モード : AUTO 1.0倍から1/4倍にレンズを移動させた後、1/2倍(W.D.=180mm)で撮影。これを30秒に1回の割合で繰り返す。
専用リチウムイオン電池に寿命はありますか？	寿命はあります。 一般的に、リチウムイオン電池は500回以上の充電が可能といわれています。 充電してもすぐに電池容量がなくなってしまうようになってきたら、寿命だとお考えください。
専用リチウムイオン電池の充電にはどれくらいの時間が必要ですか？	約90分です。
カメラに表示される撮影可能残数表示が、減らなかつたり一気に2コマ減ったりしますが、どうしてですか？	本機では、JPEG方式に準じた画像圧縮を行なって記録しています。 JPEG方式の特徴として、写された画像によって圧縮後のデータサイズが変動しますので、場合によっては枚数表示が減らないこともありますが、故障ではありません。
以前撮影した画像を再生できません。どうすればいいですか？	以下のことが考えられますので、ご確認ください。 ・SDカード内のフォルダ構成やファイル名称が変更されていると、カメラで再生できなくなる場合があります。元の状態に戻してお試しください。 ・パソコン上で画像を加工したり、回転したりして保存し直した画像ファイルは、カメラで再生できなくなる場合があります。この場合、カメラで再生できるように戻すことはできません。
カメラを使用できる温度・湿度は何度くらいですか？	摂氏0～40度です(湿度：5～85%)。

17 仕様



カメラ本体

項目	内容
CCD	
撮像素子	1/2.5型総画素数約420万画素インターラインCCD、原色フィルター付き
総画素数	420万画素 (2,408×1,758)
有効画素数	398万画素 (2,304×1,728)
撮像感度	ISO50相当 (標準、ミラー、低反射モード) ISO100相当 (顔貌モード)
レンズ	
焦点距離	11.54mm～30.49mm (35mmフィルム換算 70-185mm相当)
絞り設定範囲	W : F2.88 T : F5.43
撮影距離 (基準位置から)	標準モード : 90mm～330mm 低反射モード : 90mm ミラーモード : 150mm～330mm 顔貌モード : 850mm
最大撮影倍率	0.166倍 (35mmフィルム換算 : 1.01倍相当)
ズーム方式	電動ズーム
AF	
フォーカス方式	映像AF方式
AFエリア	多点 (5点) (ワイド、標準) スポット
フォーカスモード	AF : ワンショットAF (アイセンサー、グリップセンサー非搭載) MF : 各撮影倍率のワーキングディスタンス表示の位置に焦点を固定
AE	
ホワイトバランス	標準、ミラー、低反射モード : 齒科標準色 顔貌モード : AUTO、昼光、曇天、白熱灯、蛍光灯
方式	TTL (顔貌のみ)
シャッター	CCD電子シャッターと電子制御メカニカルシャッター併用
シャッター速度	標準、ミラー、低反射モード : 1/1,000sec 顔貌モード : 1/15～1/1,000sec
露出モード	FM調光 (標準、ミラー、低反射モード) AUTO (顔貌)
露出補正	標準、ミラー、低反射モード : なし 顔貌モード : ±2Ev (1/3Evステップ)
撮影モード	
撮影モード	標準モード、ミラーモード、低反射モード、顔貌モード
フラッシュ	
フラッシュモード	標準、ミラー、低反射モード : 強制両側発光、強制片側発光 顔貌モード : AUTO、強制両側発光、OFF
フラッシュ制御方式	標準、ミラー、低反射モード : FM調光 顔貌モード : プリ発光式調光制御
フラッシュ同調速度	全速
調光補正	標準、ミラー、低反射モード : ±1Ev (1/3 Evステップ) 顔貌モード : なし

項目	内容
外部フラッシュ	なし
ファインダー	
ファインダー形式	ファインダーなしの背面LCDのみ
電子マグニファイヤー機能	拡大率×2、×4
表示切り替え機能	撮影データ表示あり/なし 切り替え可能
フォーカシングスクリーン表示	切り替え可能(ノーマル、方眼、座標)
記録部	
記録媒体	SDカード(容量2GBまで)
記録形式	Exif2.21 (JPEG) DCF2.0準拠
記録画素数	2,272×1,704、1,600×1,200、640×480
画質モード(圧縮率)	ファイン(1/4)、エクストラファイン(1/2.5)
デジタルズーム	最大1.4倍、トリミングモード
デジタルズーム時の画像サイズ	オリジナルと画素数同じ
カラーモード	sRGB Natural
シャープネス	標準
Exif Tag 情報	撮影年月日時刻 撮影条件 色空間情報 撮影倍率 撮影モード フラッシュ発光情報
消去機能	あり(1コマ/全コマ/指定コマ) クイックビュー(撮影モード)時の消去可能
データ写し込み機能	年月日+撮影倍率+モード+フラッシュ発光情報 月日時刻+撮影倍率+モード+フラッシュ発光情報 なし(なしの場合、Exif Tag のみに記載)
表示/再生	
液晶モニター	2.0型高精細 TFT 液晶(固定)
モニター画素数	約21万画素
再生拡大倍率	×1.1 ~ ×6
Quick View	表示、拡大
After View	なし、2秒、5秒、10秒切り替え可能
動作環境	
使用電池	専用Lithium-ion (7.4V×800mAh)
時計用電池	二次電池にて対応
外部電源	なし
PC用インターフェイス	なし
ビデオ出力	NTSC/PAL切り替え可能
大きさ(W×H×D)	146×72×86.5mm
重さ	約460g(電池、メディアなどの付属品を含む)
外部I/O	
三脚座	あり(位置決めピンなし)
ホットシュー	なし
リモートリリース端子	なし
カードスロット	SD1 スロット
PC接続端子	なし
ビデオ出力端子	あり(映像出力のみ)
音声出力	なし(音声入力なし、内蔵スピーカー)

充電式リチウムイオン電池 SL-800

項目	内容
電圧	7.4V
容量	800mAh
大きさ (W×H×D)	32.3mm×51.8mm×15.7mm
質量	約43g

充電器 SC-800

項目	内容
入力電圧	AC100V ~ 240V*
入力周波数	50/60Hz
入力容量	8W
充電出力	DC8.4V
充電時間	約90V
大きさ (W×H×D)	68mm×73mm×28mm
質量	約72g (電池別)

* 充電器に付属のACコードは、AC100 - 120V仕様です。



注記

- ・本書に記載されている性能は、当社試験条件によるものです。
- ・本書に記載されている性能および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

18 付属品



名称	数量	備考
カメラ本体	1	
レンズカバー	1	カメラ本体に取り付け済み
端子カバー	1	カメラ本体に取り付け済み
ハンドストラップ	1	
充電式リチウムイオン電池	1	SL-800
充電器 (ACコード付き)	1	SC-800
ビデオケーブル	1	
ビデオコネクタキャップ	1	
SDカード	1	256MB
SDカードリーダー	1	
取扱説明書 (本書)	1	
保証書	1	
SDカード用取扱説明書	1	



カメラ専用電池はリチウムイオン電池を使用しています。使用済みの電池は捨てないで、販売店・弊社担当窓口、または最寄りのリサイクル協力店にお持ちください。

* リサイクル協力店…詳細は、有限責任中間法人JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ <http://www.jbrc.com>

19 保証について

本製品は厳重な検査を経て出荷されておりますが、保証期間内 (お買い上げから1年間) に正常な使用状態において万一故障した場合には、無償で修理いたします。詳しくは添付の保証書をご覧ください。

充電式リチウムイオン電池、レンズカバー、ビデオコネクタキャップ、ハンドストラップは消耗品のため、保証期間内であっても有償となります。

SDカードは、メーカー保証となります。添付のSDカード取扱説明書をご覧ください。

SDカードリーダーは動作確認用の試供品のため、保証対象外となります。故障した場合は市販のカードリーダーをお買い求めください。



索引

英数字

1コマ再生.....	57
1コマ消去.....	60
1コマプロテクト.....	61
2倍拡大表示.....	40
4倍拡大表示.....	40
AE.....	90
AF.....	48、90
AFエリア.....	43、45
AF音.....	64、66
AFフレーム.....	8
AUTO.....	46
CCD.....	90
DCIM.....	52
JPEGファイル.....	77
L側発光.....	33、40
LED照明.....	6
LED点灯モード.....	9、39
LED /フラッシュモードボタン.....	7、39
LR発光.....	33、40
MF.....	49
R側発光.....	33、40
SDカード.....	15、61、84
SDカードなしでの撮影.....	25
SDカードリーダー.....	69
USBドライバのインストール.....	77

あ

明るさの微調整.....	33
アクセランプ.....	7、70
圧縮率.....	47
アフタービュー.....	44、50
アフタービュー機能.....	22
インテックス再生.....	57
写し込み.....	43、50
液晶モニター.....	7、84
液晶モニター明るさ調整.....	65
オート点灯.....	39
オートフォーカスモード (AF).....	48
応用撮影.....	26
お手入れ.....	86

か

外部I/O.....	91
拡大再生.....	58
拡大表示.....	21
画質.....	8、10、46
画像確認.....	22
画像サイズ.....	8、10、46
画像サイズ・画質.....	43
画像消去.....	24、58、60
画像テレビ表示.....	58
画像の明るさ調整.....	38
画像番号.....	10
画像ファイルのコピー・保存.....	70
画像ファイルを開く.....	77

片側フラッシュ撮影.....	33
構え方.....	28
画面表示の切り替え.....	36、56
顔検出モード.....	13、35
基本的な撮影.....	16
白歯部撮影.....	34
強制発光.....	39
共通メニュー.....	43
記録部.....	91
記録メディア.....	84
クイックビュー.....	22
クイックビュー/消去ボタン.....	7、22、24
グリッド.....	45
蛍光灯.....	46
警告.....	1
警告表示.....	1
咬合面観.....	32
誤消去防止.....	60、61
固定焦点.....	49
コマ指定消去.....	60
コマ指定プロテクト.....	61
コピー方法.....	74

さ

再生モード.....	56
再生モードメニュー.....	59
撮影画像数.....	47
撮影可能倍率.....	26
撮影可能範囲.....	82
撮影可能表示.....	82
撮影データ表示.....	36
撮影日時.....	10
撮影の“コ”.....	28
撮影残り画像数.....	9
撮影倍率.....	19
撮影倍率表示.....	8、10
撮影モード.....	12、18、36、90
撮影モード表示.....	8
撮影モードメニュー.....	41、43
シェードテイキング.....	31
実行ボタン.....	7
シャッターボタン.....	6
シャッター操作.....	28
シャッター音.....	64、66
十字キー.....	7
充電器.....	3、5、14、92
充電式リチウムイオン電池.....	2、92
充電時間.....	89
充電ランプ.....	14
常時点灯.....	39
使用温度.....	83
消去.....	59
消去方法.....	14
使用方法.....	14
正面観.....	31
初期化.....	61
初期設定.....	43、51、67
推奨撮影モード.....	30

推奨ピント位置	30
スケール	45
ストラップ取り付け部	6
スピーカー	6
スポット	45
石膏模型撮影	34
接続解除	75
設定値オートリセット	37、43、44、51
設定値リセット	43、64、67
セットアップモード	63
セットアップモードメニュー	63
全コマ消去	60
全コマプロテクト	61
全体の画像数	10
操作音	64、66
操作音設定	66
側方観	32

た

端子カバー	6
昼光	46
調光補正	9、38
月日時刻	50
定倍率撮影	26
低反射モード	13
テレビ接続	58
デジタルズーム倍率表示	8
電池	2、14、83、92
電池 / SDカードスロットカバー	6、14
電池容量	17
電池容量表示	8
電池ロックレバー	14
点灯なし	39
独立メニュー	43
トラブルシューティング	87
トラブルメッセージ	88
ドライバーインストール方法	79
ドライバー再インストール	81
ドライバーのダウンロード	77
ドライバーファイルの解凍	78
ドラッグ&ドロップ	74
曇天	46

な

日時設定	64、65
年月日	50

は

白熱灯	46
倍率切り替え	26
倍率切り替えボタン	7、18、26、56、58
倍率の定義	82
倍率表示	82
発光なし	39
発光部の選択	33
パソコン接続	70
パソコンへの取り込み	69
パワーセーブ	64、66
パワーセーブ時間変更	66
ハンドストラップ	11
日付形式	53、55
日付形式フォルダ	55

日付 / 時刻	17
ビデオケーブル	58
ビデオコネクタキャップ	6、11
ビデオ出力	64
ビデオ出力形式切り替え	66
ビデオ出力端子	6
表示 / 再生	91
標準形式	53、55
標準モード	12
ピント	29、30
ファイル	52
ファイルサイズ	47
ファイルNo. メモリー	44、54
ファイルNo. メモリーリセット	54
ファイル番号	10
ファイル名	53
ファインダー	91
フォーカシングスクリーン	9、43、45
フォーカス表示	9
フォーカスモード	8、43、48
フォーマット	59、61
フォルダ	52
フォルダ形式	44
フォルダ構成	52
フォルダ番号	10
フォルダ名	53
付属品	93
フラッシュ	90
フラッシュ発光位置切り替え	40
フラッシュ発光部	6
フラッシュモード	39
フラッシュモード表示	9
プレビュー拡大	40
プレビュー拡大中表示	8
プレビュー拡大リセット	41、44、51
プレビュー画面	40
プロテクト	59、60、61
プロテクト表示	10
ボリュームラベル表示	72
ホワイトバランス	9、43、46

ま

前歯部拡大	30
マニュアルフォーカスモード	
(MF : 固定焦点)	48、49
ミラーモード	12
メインスイッチ	6、16
メニューボタン	7、59
モード切り替えダイヤル	7、18、56
モニター明るさ	64

ら

ライトプロテクトスイッチ	15
レンズ	90
レンズカバー	16
露出補正	9、38
ロックレバー	6、14

わ

ワーキングディスタンス	8、20
ワイド	45



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

本社 ● 〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112(代)